

令和 6 年度 第 1 回沖縄県がん診療連携協議会及び幹事会

厚生労働省委託事業

令和 5 年度 アピアランス支援モデル事業

令和 6 年 4 月 3 日（水）

【資料】

1. アピアランス支援モデル事業に関する都道府県説明（資料1） / p.3
2. アピアランス支援モデル事業における琉球大学病院の今後の年間計画（資料2） / p.5
3. アピアランスケア研修会（資料3） / p.7
4. アピアランスケア沖縄県全体勉強会（資料4） / p.15
5. アピアランス支援モデル事業中間報告会（資料5） / p.26
6. アピアランスケア八重山勉強会・相談会（資料6） / p.49
7. アピアランスケア宮古島勉強会・相談会（資料7） / p.65
8. アピアランス支援モデル事業最終報告会（資料8） / p.82

アピアランスケアについて

【定義】

広義では「医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア」

※治療で外見が変化したら必ずアピアランスケアを行わなければならない、ということではない。
(国立がん研究センター中央病院アピアランス支援センターHPより)

【アピアランスケアの必要性】

がん医療の進歩により治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増加している。がんの治療と学業や仕事との両立を可能とし、治療後も同様の生活を維持する上で、治療に伴う外見変化に対する医療現場におけるサポートの重要性が認識されている。

治療の種類	代表的な外見の変化
化学療法	脱毛（頭髪、まつげ、まゆげ）、手足症候群、皮膚色素沈着、爪の割れやはがれ、変色など
分子標的治療	手足症候群、ざ瘡様皮疹、皮膚乾燥（乾皮症）、爪囲炎など
放射線治療	放射線皮膚炎など
手術療法	手術痕、身体の部分的な欠損、むくみなど

【各研究班の取り組み】

	期間	研究課題	研究代表
がん対策推進総合研究事業	H29-R1	がん患者に対するアピアランスケアの均てん化と指導者教育プログラムの構築に向けた研究	野澤 桂子
	R2-	がん患者に対する質の高いアピアランスケアの実装に資する研究	藤間 勝子
AMED	H26-28	がん治療に伴う皮膚変化の評価方法と標準的ケア確立に関する研究	野澤 桂子
	H29-30	分子標準治療薬によるざ瘡様皮膚炎に対する標準的ケア方法の確立に関する研究	野澤 桂子

がんとの共生に向けた相談支援の強化（アピアランス支援モデル事業）

令和5年度予算案 26百万円（－）※（）内は前年度当初予算額

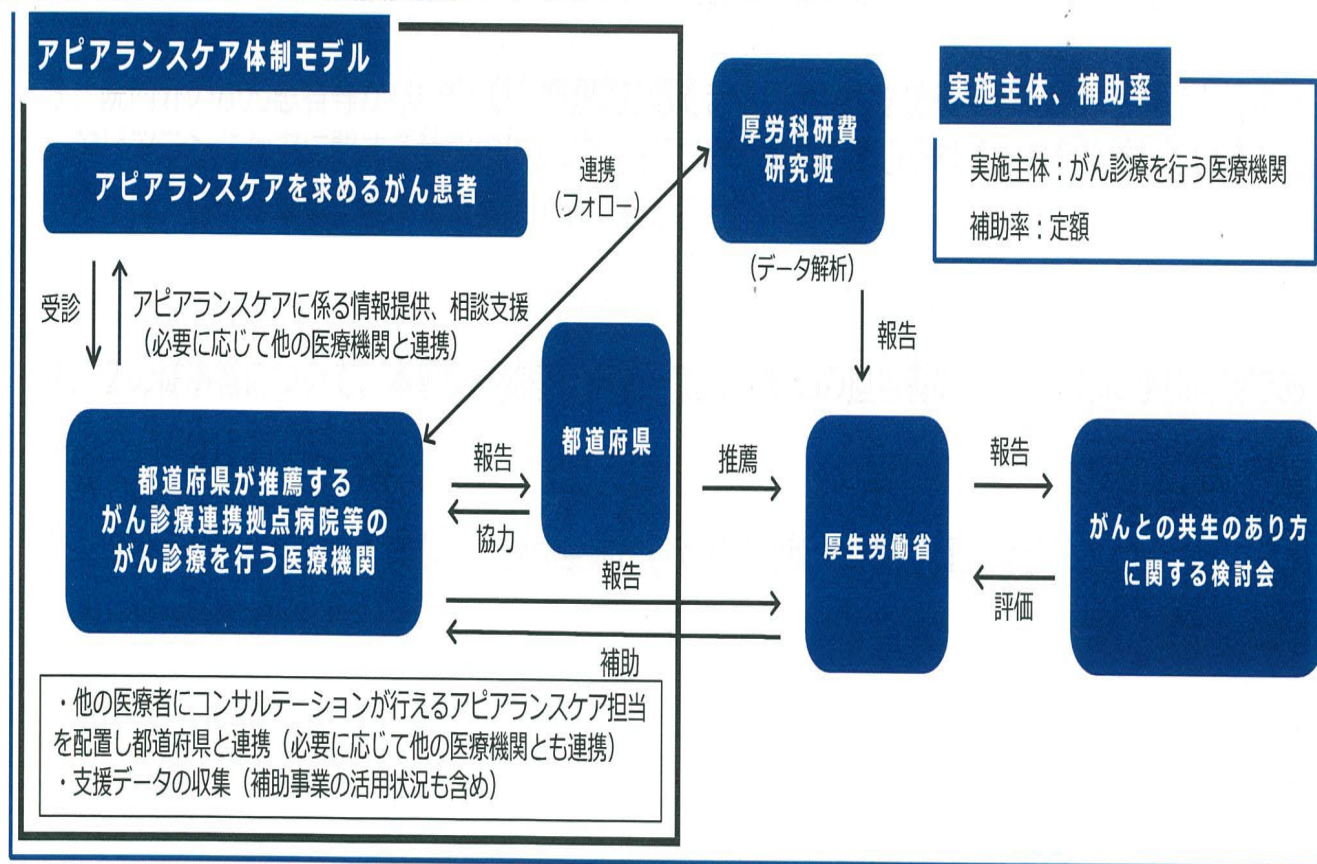
1 事業の目的

- 治療に伴う外見の変化は、社会生活に大きく影響することから、医療現場における適切なアピアランスケア体制の構築が必要。
- アピアランスケア体制の構築に当たっては、がん治療を行う医療機関と都道府県とが連携し社会全体で患者を支援する必要があるが、どのような体制が効果的であるかを検証した上で全国展開を図る。

2 事業の概要

- がん診療連携拠点病院等のがん診療を行う医療機関において、アピアランスケアを必要とするがん患者に対し、研修を受けた医療従事者による情報提供や相談支援等を行い、効果的な支援体制について検証するモデル事業を実施する。
- 検証に当たっては厚労科研費研究班と連携し、分析を行う。

3 事業のスキーム、実施主体等



		R5 年度予定
1. 院内研修会	開催日程	11 月 14 日（火）17：30～18：30
	開催地	本島内
	形式	オンライン（オンデマンド配信）
	内容	アピアランスケア研修会
	講師	・看護部 緩和ケアセンター がん看護専門看護師 砂川 華 ・沖縄県地域統括相談支援センターピア・サポーター（患者の立場）：上地 久美子
	対象者	医療従事者（琉球大学病院）
2. 情報交換会	開催日程	令和6年1月12日（金）17：30～18：30 （第7回緩和ケアにおける地域連携カンファレンス）
	開催地	本島内
	会場	WEB 開催
	内容	医療者のためのアピアランスケアに関する情報交換会
	講師	看護部 緩和ケアセンター がん看護専門看護師 砂川 華
	対象者	医療従事者（がん診療を行う医療機関及び地域の医療機関）
3. 院内患者サロン	開催日程	令和5年9月～令和6年3月（期間中●回開催予定）
	開催地	本島内
	会場	琉球大学病院（琉大ゆんたく会）
	内容	アピアランスケアに関する情報を聴取・情報提供
	派遣者	看護部 緩和ケアセンター がん看護専門看護師 砂川 華
	対象者	がん患者及びその家族等
4. 県全体勉強会	開催日程	12 月 17 日（日）13：00～17：00
	開催地	本島内
	会場	おきなわクリニカルシミュレーションセンター
	内容	パネルディスカッション、グループディスカッション
	講師	・目白大学教授 野澤 桂子 ・NPO 法人愛媛がんサポートおれんじの会理事長 松本 陽子
	対象者	医療従事者（がん診療を行う医療機関） アピアランスケアに関心がある方・知識を深めたい方
5. 宮古・八重山勉強会	開催日程	① 1 月 26 日（金）17：00～18：30 ② 3 月 1 日（金）17：00～18：30
	開催地	① 石垣市 ② 宮古島市
	会場	① 八重山病院 ② 宮古病院（ハイブリッド開催）
	内容	アピアランスケアに関する勉強会

	講師	看護部 緩和ケアセンター がん看護専門看護師 砂川 華 緩和ケア認定看護師 中村 翼
	対象者	医療従事者 患者団体関係者
6. アピアランスケア教室（対面） ＊離島は勉強会とあわせて連日開催	開催日程	① 11月11日（土）15：30～16：00（リレーフォーライフ・ジャパン 2023 沖縄） ② 12月7日（木）14：00～16：00（第8回 琉大ゆんたく会） ③ 12月22日（金）15：00～16：30（ウィッグアピアランス相談会） ④ 1月27日（土）10：00～12：00 ⑤ 3月2日（土）10：00～12：00 ⑥ 3月8日（金）15：00～16：30（ウィッグアピアランス相談会） ⑦ 1月18日（水）14：00～15：00 ⑧ 1月25日（木）16：00～17：00
	開催地	① 浦添市てだこ広場 ② 琉球大学病院 大学院セミナー室 ③ 琉球大学病院 ④ 石垣市／県立八重山病院 ⑤ 宮古島市／働く女性の家 ゆいみなあ ⑥ 琉球大学病院 ⑦ 那覇市立病院 ⑧ 沖縄県立中部病院
	内容	講演、情報提供、相談会
	講師	看護部 緩和ケアセンター がん看護専門看護師 砂川 華 緩和ケア認定看護師 中村 翼
	対象者	がん患者及びその家族等
7. アピアランスケア教室（オンライン）	開催日程	① 11/21（火）14：30～15：30（第8回オンラインゆんたく会） ② 2/20（火）14：30～15：30（第11回オンラインゆんたく会）
	形式	オンライン（Zoom）
	内容	講演、情報提供
	講師	①看護部 緩和ケアセンター がん看護専門看護師 砂川 華 ②緩和ケア認定看護師 中村 翼
	対象者	がん患者及びその家族、一般県民

令和5年度 厚生労働省委託事業 アピアランスケア支援モデル事業

アピアランスケア研修会

開催報告

実施日：令和5年11月14日（火）

主催：がんセンター

【名称】

令和5年度 アピアランスケア研修会

【目的】

本院が採択を受けた令和5年度アピアランス支援モデル事業において、院内医療従事者のアピアランスケアに対する知識、意欲向上を図る。

- 1.名 称 令和5年度 アピアランスケア研修会
- 2.日 時 令和5年11月14日（火）17：30～18：30
- 3.対 象 本院でがん診療に関わる全ての医療従事者
- 4.形 式 Web開催（オンデマンド配信）
- 5.主 催 琉球大学病院がんセンター
- 6.プログラム

<講 義> 「患者が望むアピアランスケアとは」

がんピア・サポーター 上地 久美子さん

「アピアランスケアに関する新しい考え方」

がん看護専門看護師 砂川 華さん

<質疑応答>

【講師・スタッフ一覧】

名前	所属	担当
増田 昌人	沖縄県地域統括相談支援センター がんセンター長	責任者
上地 久美子	沖縄県地域統括相談支援センター 相談員	研修会講師
砂川 華	がん看護専門看護師	研修会講師
喜瀬 杏妃	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員	スタッフ
比嘉 優花	がんセンター	スタッフ
大嶺 真希	がんセンター	担当者

【タイムスケジュール】

開始	終了	時間	内 容	講師・担当者
17:30	17:35	5分	開会のあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター がんセンター長 増田 昌人
17:35	17:50	20分	患者が望むアピアランスケア	がんピアサポーター 上地 久美子
17:50	18:20	5分	アピアランスに関する新しい考え方	緩和ケアセンター 看護師 砂川 華
18:20	18:30	10分	質疑応答	講師・相談員・スタッフ
18:30	18:35	5分	閉会のあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター がんセンター長 増田 昌人

【参加者数】

受講者：20 名

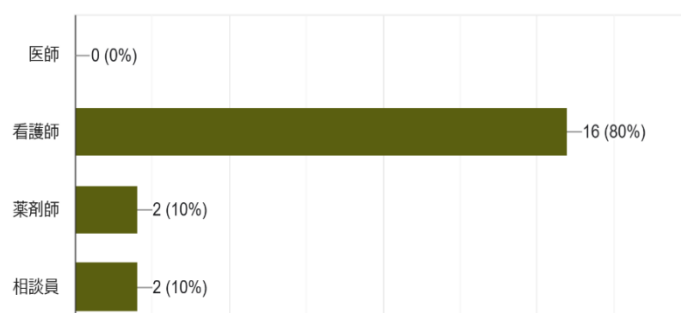
【振り返り】

- ・ 9 月開催予定であったが、今回 11/14 へ延期となって開催された。
- ・ 医療従事者が参加しやすい時間帯 17：30 より開催された。
- ・ 電子カルテ、チラシ、ポスターでの広報によって、医療従事者 20 名の参加があった。内訳は、看護師 16 名、薬剤師 2 名、相談員 2 名。
- ・ e-learning 受講者 50 名に対して、全体の参加人数は 20 名であった。
- ・ 後日、配信されたオンデマンド配信後の、アンケート回答人数は現在 20 名と、当日のオンライン参加人数との変化はみられない。
- ・ 講師 2 名とも、当センターにて配信を行ったため、Zoom ミーディングの設定など担当以外の 2 名のスタッフがフォローし、スタッフ間の連携が取りやすく、滞りなくスムーズに配信ができた。
- ・ ウェビナー配信のため、チャットにて質疑応答が可能であった。(参加者からの質問はなかった)

【アンケート回答結果】

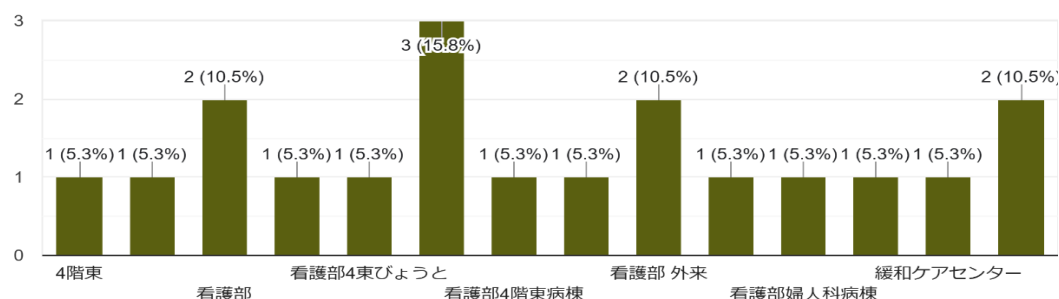
あなたのご職業を教えてください。

20 件の回答



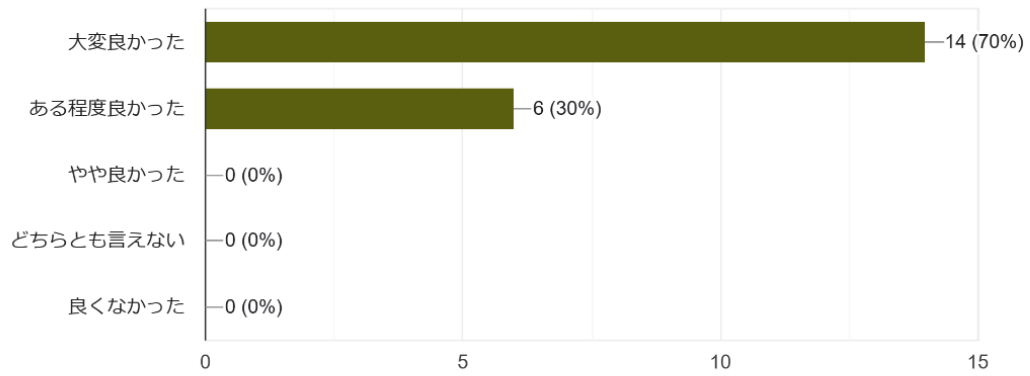
あなたの所属部署を教えてください。

19 件の回答



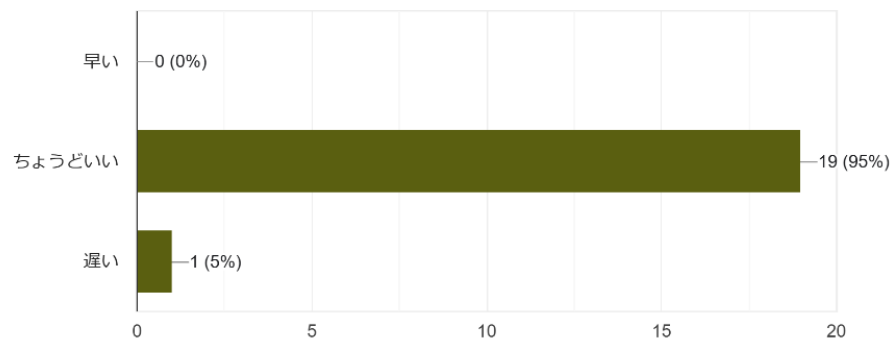
本日の研修会は良かったですか。

20 件の回答



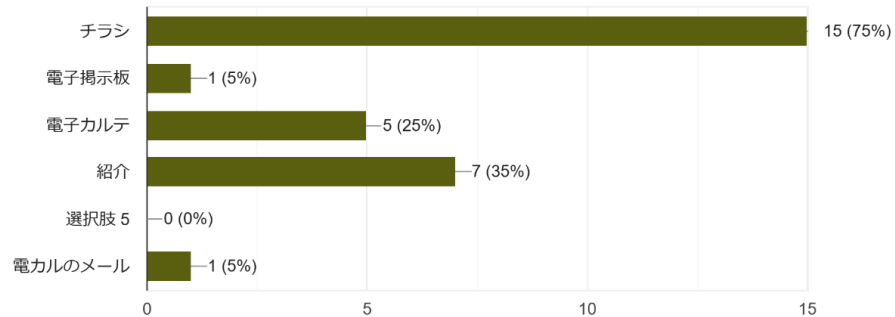
講演時間はいかがでしたか。

20 件の回答



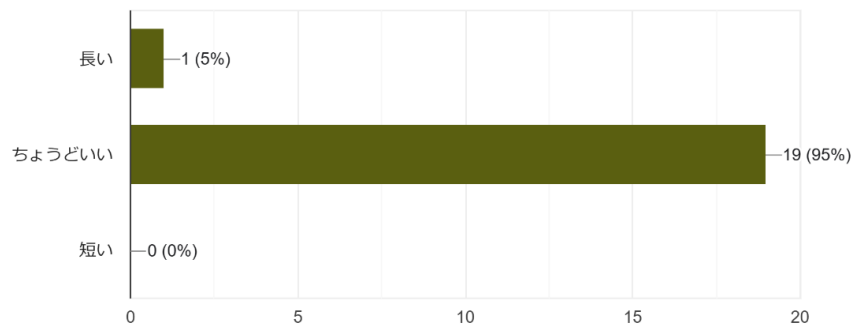
今回の研修会は、何をきっかけに知りましたか。

20 件の回答



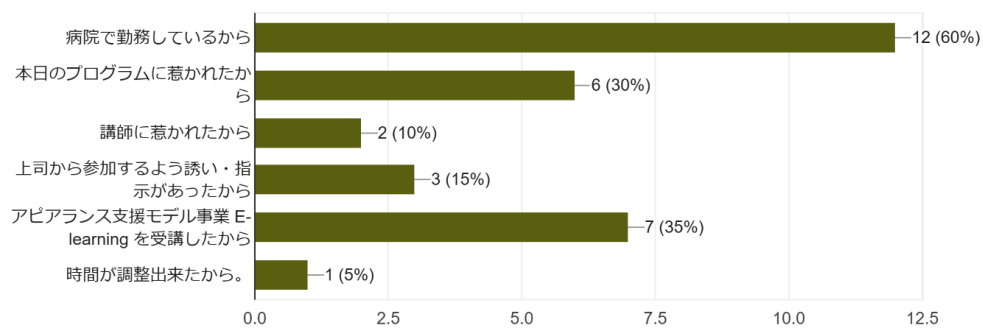
講演時間はいかがでしたか。

20 件の回答



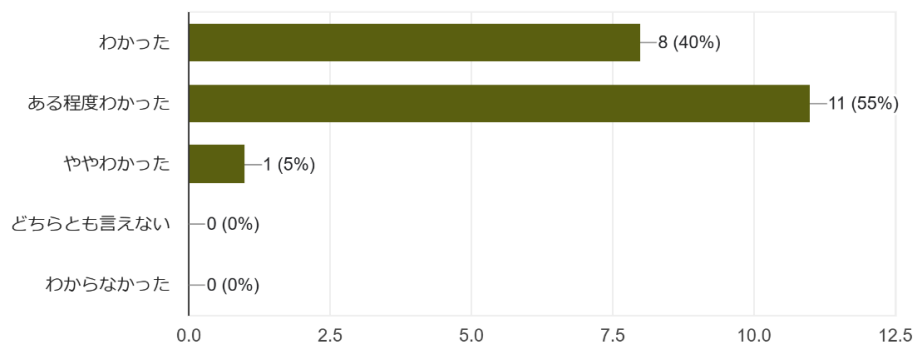
今回の研修会に参加しようと思った動機を教えてください。

20 件の回答



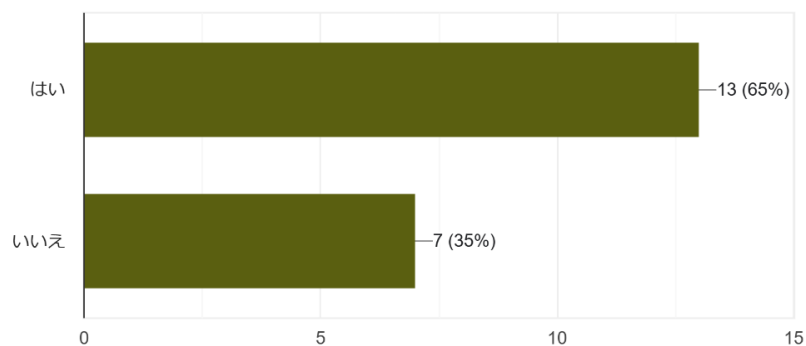
「アピアランスの新しい考え方」について理解できましたか。

20 件の回答



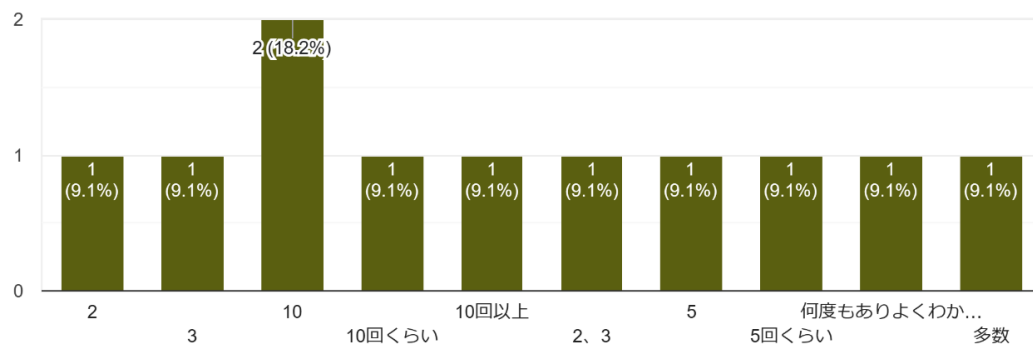
これまでに、患者（家族）からアピアランスケアに関する相談や質問を受けたことがありますか。

20 件の回答



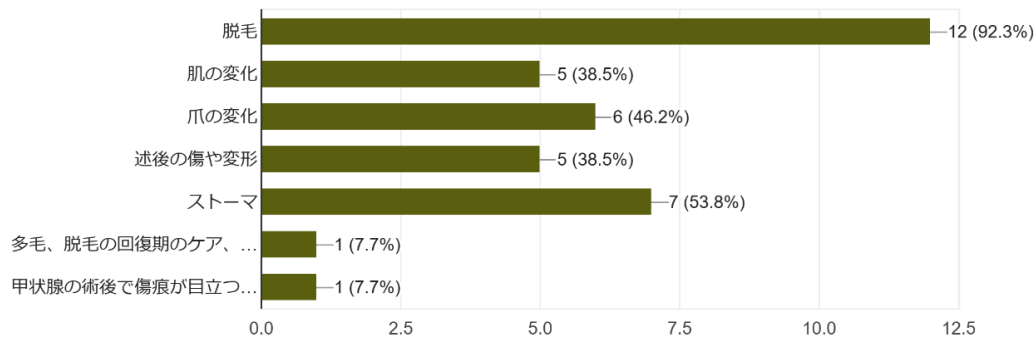
「はい」の方はおおまかな回数もあわせてお答えください。

11 件の回答



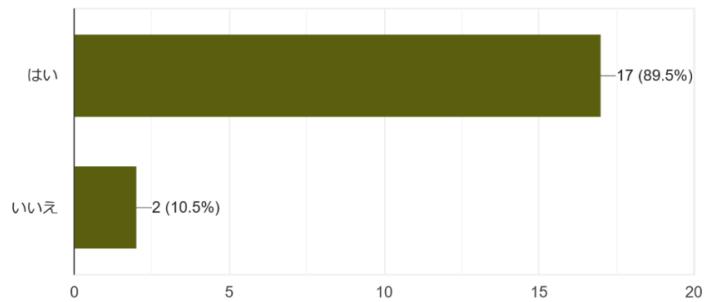
「はい」と答えた方へお聞きします。具体的には、どのような相談内容でしたか。

13件の回答



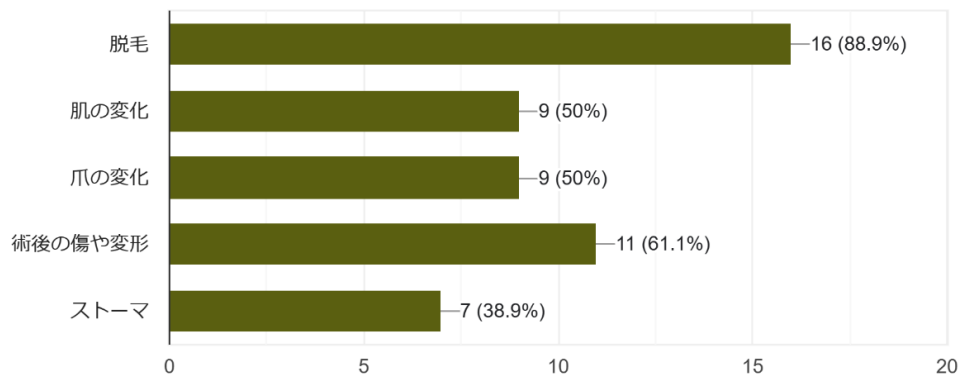
普段の業務の中で、アピアランスケアの介入が必要だと感じた場面はありましたか。

19件の回答



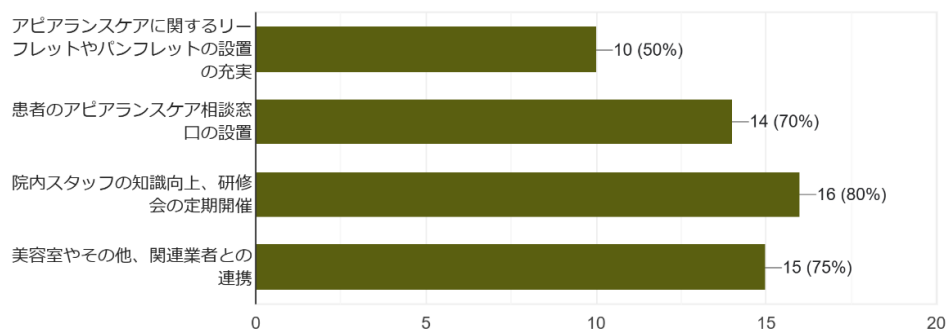
「はい」と答えた方へお聞きします。具体的には、どのような症状でしたか。

18件の回答



琉大病院内でのアピアランスケアの相談対応で、今後取り組んで欲しいことがあれば教えてください。

20件の回答



「患者が求めるアピアランス」についての感想をお聞かせ下さい。

- ・患者の思いを知れてとても勉強になった。医療者からの親しみある関わりや日常会話の大切さを学んだ。
- ・婦人科で患者は治療を続けながら、今までと同じように生活したいと考えているので、治療での変化や不安を聞き、対応方法を一緒に考えていくことが必要だと思いました。
- ・副作用で容姿が変わることなく治療ができること！
- ・普通の対応が、患者のニーズである事がわかり、気持ちが楽になった。
- ・残念会ながら、ズームへの入室が遅れて視聴することができませんでした。
- ・患者さんより副作用のこと(特に脱毛に対して)について質問することがよく聞かれるので、正しい情報を伝えて、患者さんと一緒に悩みを考え、対応できるようにしていきたいと思います。
- ・声かけで患者さんの気持ちはだいぶ変わるんだなと思ったので、今後は声かけも特に意識していきたいと思った。また、気にしてそうな患者さんには積極的に情報提供していきたいなと思った。
- ・治療をうけている、治療と向き合ってきた患者さんが感じていることを聞くことができて、よかったです。いつも、治療や副作用の話ばかりしていたなと、反省しました。
- ・患者が気にしていることを少しでも軽減できるよう、ケアできる知識や対応が求められてると感じました。
- ・患者個々のニーズに応じる必要があるため画一的な正解がなく、言うは易いが実行するのは難しいと感じています。
- ・患者の思いに寄り添って支援する
- ・患者さんの言葉の裏にある思いを確認する事
- ・治療にともなう様々な変化にたいして適切な情報提供をしたり、患者さんの生活背景をみすえた介入が必要だとわかった。

本日の研修会に関するご感想や、ご要望など何かあれば自由に記入して下さい。

- ・また、聴講したいです。
- ・大変勉強になりました。今後も勉強会の開催よろしくお願い致します。
- ・外見のみならず、がんの治療や副作用に対して前向きに、患者さんなりに考えていくことの必要性を学ぶことができました。

アピアランスケア沖縄県全体勉強会

開催報告

実施日：令和5年12月17日（日）

主催：がんセンター

【名称】

令和5年度 アピアランスケア沖縄県全体勉強会

【目的】

当院が採択を受けた令和5年度アピアランス支援モデル事業において、沖縄県内のがん診療に関わる医療従事者のアピアランスケアに対する知識、意欲向上を図る。

1. 名 称 令和5年度 アピアランスケア研修会
 2. 日 時 令和5年11月14日（火）17：30～18：30
 3. 対 象 がん診療に関わる全ての医療従事者、アピアランスケアに関心がある方・知識を深めたい方
 4. 場所 おきなわクリニカルシュミレーションセンター
 5. 主 催 琉球大学病院がんセンター
 6. プログラム
- <講 義> 「臨床で活かすがん患者へのアピアランスケア」
目白大学 看護学部看護学科 教授
前国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援センター長
野澤桂子先生

「患者が求めるアピアランスケアとは何か？」
NPO 法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長
全国がん患者団体連合会 副理事長
松本陽子 氏

<グループワーク>

【講師・スタッフ一覧】

名前	所属	担当
増田 昌人	沖縄県地域統括相談支援センター がんセンター長	責任者
砂川 華	がん看護専門看護師	ファシリテーター
中村 翼	緩和ケア認定看護師	司会進行
喜瀬 杏妃	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員	スタッフ
比嘉 優花	がんセンター	スタッフ
大嶺 真希	がんセンター	担当者

【タイムスケジュール】

開始	終了	時間	内 容	講師・担当者
13:00	13:05	5分	オリエンテーション	中村翼
13:05	13:10	5分	開会のあいさつ	がんセンター長 増田 昌人
13:10	13:15	5分	講師およびスタッフ紹介	講師・スタッフ
13:15	14:45	90分	臨床で活かすがん患者へのアピアランスケア	野澤桂子先生
14:45	14:55	10分	休憩/アンケート記入	
14:55	15:25	30分	患者が求めるアピアランスケアとは何か？	松本陽子氏
15:25	15:35	10分	休憩/アンケート記入	

15:35～			グループワーク	
			各グループ6～8名 4～6グループ	
15:35	15:40	5分	グループワークの流れについて説明	進行：砂川華
15:40	15:50	10分	アイスブレイク	各グループ
15:50～			グループディスカッション	
15:50	16:10	20分	症例1) 女性、脱毛に関する悩み 症例2) 男性、皮膚障害に関する悩み	
16:10	16:30	20分	各グループ発表	各グループ
16:30	17:05	20分	全体振り返り講評	講師
16:50	16:55	5分	閉会のあいさつ	がんセンター長 増田
16:55	17:00	5分	アンケート記入	参加者各自
17:00			閉会	

【参加者数】

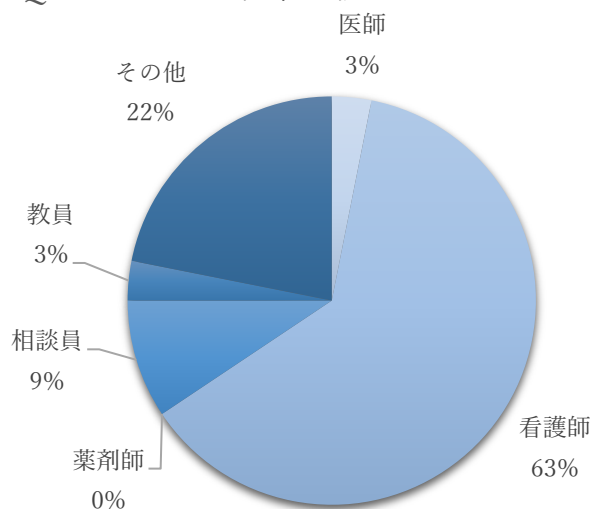
受講者：37名

【振り返り】

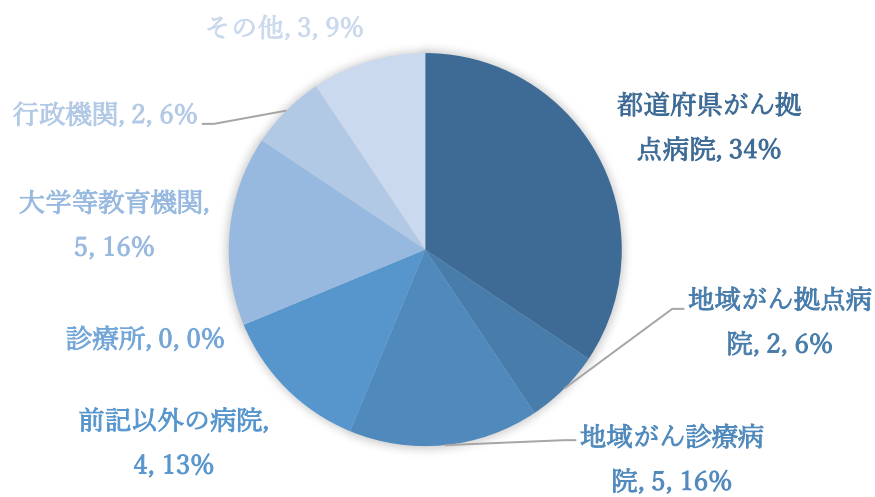
- ・42名の申込があり、当日参加は37名であった。締め切り期限（12/10）までは18名と少数であったため、期日後も参加者を募った。
- ・事前課題について、期限過ぎての提出があったため、3日前（12/14）までの提出分を集計した。
- ・参加するきっかけに、「知人からの紹介」が多くを占めた。
- ・参加医療従事者の所属組織は、がん拠点病院が多くを占めた。
- ・医療従事者だけでなく、次年度にアピアランスケア支援事業を施行する行政機関からの参加もあり、質問も多くみられ、今後の助成においてアピアランスケアに関する行政側の認識が深まった印象を受けた。
- ・院外のe-learning受講者は、県外で受講された方が多かった。
- ・グループワークの時間は60分では足りず、もっと長い時間設けるべきだと感じた。

【アンケート回答結果】(32 名分)

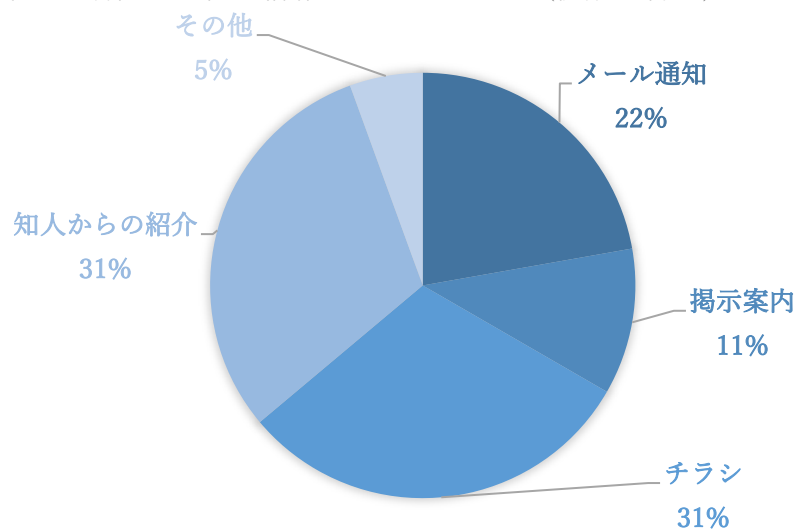
Q1.あなたのご職業を教えてください。



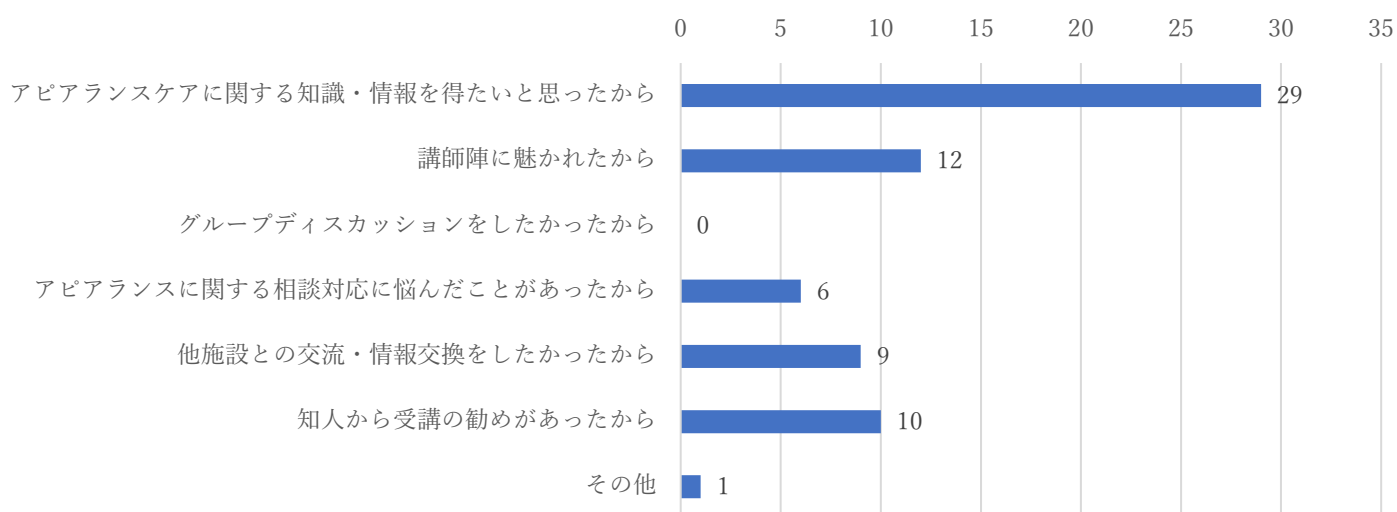
Q2.あなたの所属する施設を教えてください。



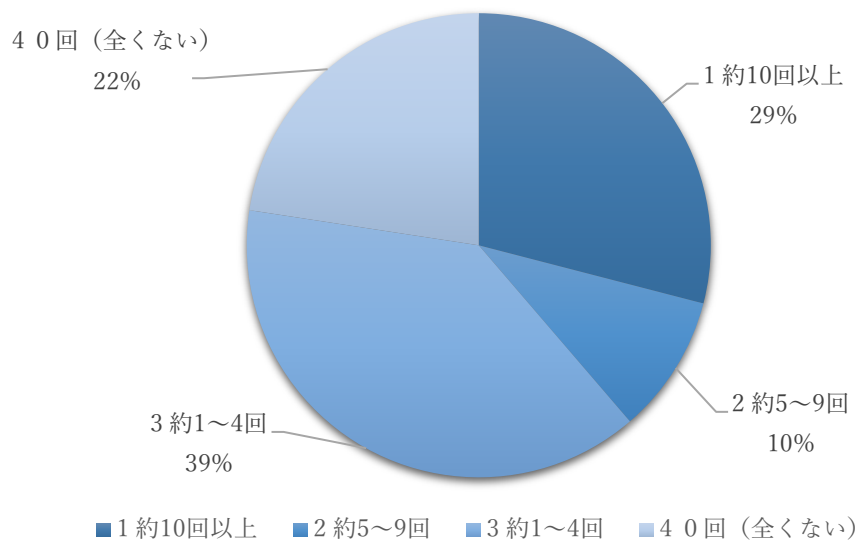
Q3.今回の研修は、何で情報を知りましたか（複数回答可）



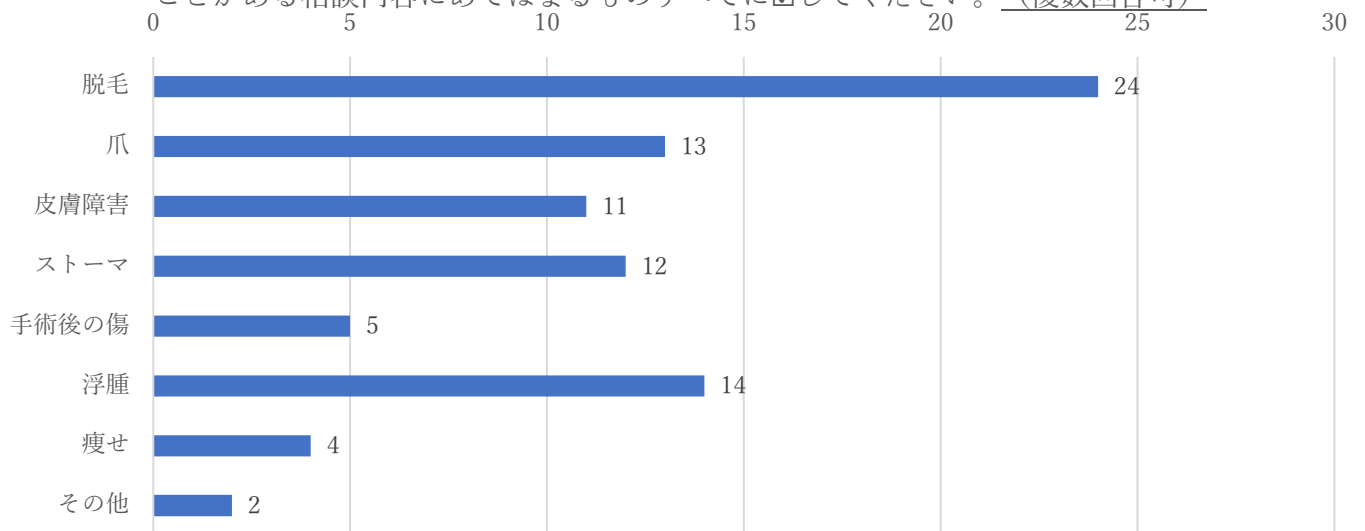
Q4.あなたが今回の研修に参加しようと思った動機を教えてください。（複数選択可）



Q5. (1) あなたはこれまでにアピアランスに関する相談を計何回ほど受けたことがありますか。



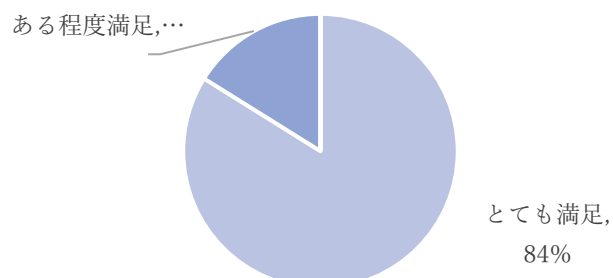
Q5. (2) アピアランスに関する相談を受けた方へお尋ねします。あなたが受けたことがある相談内容にあてはまるものすべてに☑してください。 (複数回答可)



Q6. 各講演とグループディスカッションの内容に関する満足度と時間配分はいかがでしたか。

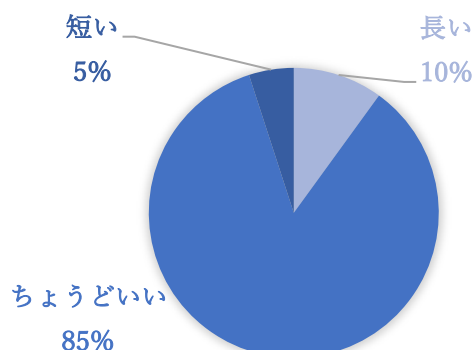
(1) 「臨床で活かせるアピアランスケア」

①満足度



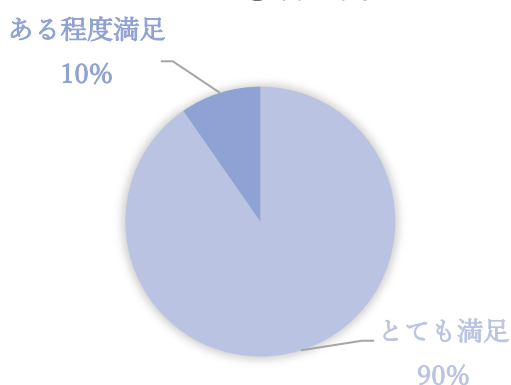
(1) 「臨床で活かせるアピアランスケア」

②時間



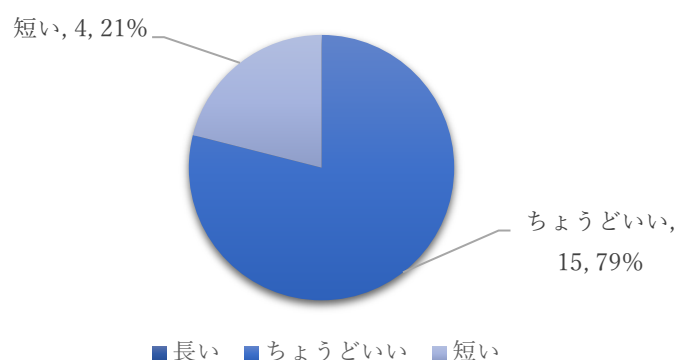
(2) 「患者が求めるアピアランスケア」

①満足度



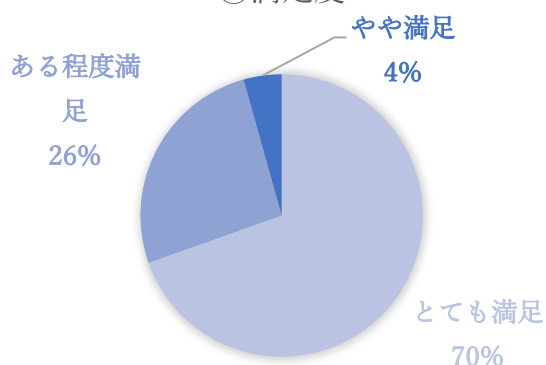
(2) 「患者が求めるアピアランスケア」

②時間



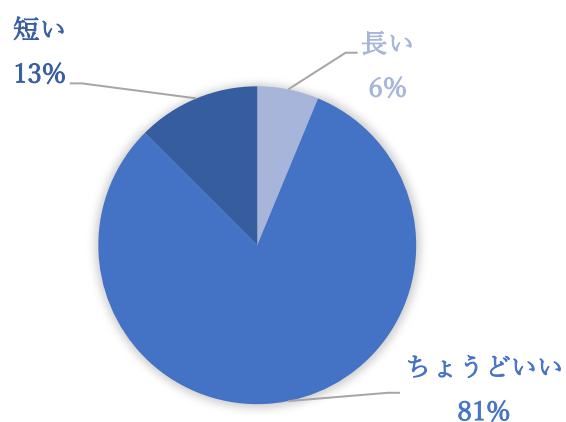
(3) グループディスカッション

①満足度



(3) グループディスカッション

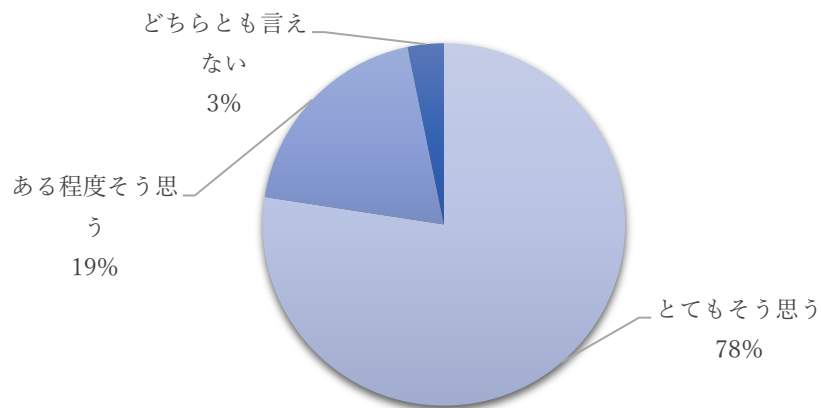
②時間



Q7. あなたの所属している自施設（自部署）ではどのようなアピアランスに関する相談対応を行っていますか

1	脱毛への対応についてウィッグの購入方法（他患者の口コミ）を伝える、相談員に繋げる、経過（まだ毛がはえてくる時期等）を伝える							
2	情報コーナーにパンフレット冊子、患者会などのパンフレットを自由に持ち帰ることができます。また、ウィッグ・帽子は何度か展示して実際に手にとってもらっています。							
3	相談対応をしている（経験談を活かし、アドバイス）							
4	資材やパンフレット提供、試供品等で実際に触ってもらったり、試してもらったりしている。化学療法室やがん看護外来で対応。							
5	自治体でこれからウィッグ助成を始めます							
6	がん相談、ウィッグや下着、パンフレットの設置							
7	パンフレット、院内売店でウィッグ、帽子を販売							
8	パンフレットなどを置いている、相談員がいる							
9	脱毛する薬剤を使用する前に、脱毛後の生活をイメージし、面談（化学療法室NS）や（薬剤師）で！							
10	ウィッグ業者のパンフレット紹介							
11	患者向けチラシ、アメニティー、化学療法室でアドバイス							
12	ウィッグ購入費用の助成に関する相談							
13	アピアランス相談会を定期的に開催している。がん相談支援センターで相談対応してます。							
14	ウィッグを展示している、パンフレットや相談員もいます。							
15	まだ行っていないので、今後の取り組みたい							
16	大学院ではがん相談支援センターやピアサポート等が対応している。							
17	ウィッグの相談は病棟NSも対応していますが、詳しい相談はがん専門NSへ対応してもらっています。							

Q8. (1) 今後もアピアランスケアに関する勉強会
があれば参加したいと思いますか



Q8. (2) 企画・開催を希望する研修のテーマや内容についてご意見がありましたら下記へご記入ください。

- 1 倫理調整について
- 2 病名告知について
- 3 サバイバーシップケア
- 4 爪などの変化に対するケアについて
- 5 実際の患者体験松本さんの話をきけたこと。
- 6 実際の困りごとへの対応・対策
- 7 とても勉強になりました。
- 8 各種職場の人達が参加する研修がよいと思います。
- 9 アピアランスについてもっと多くのスタッフへ研修開催してほしい

Q9. その他、本日の勉強会に関するご感想やご意見などがありましたら自由にご記入ください。

1	これまでアピアランスの対応について正解が分からないもどかしさがありましたが、今回の講演を聞きとてもとても学びになりました。部署でも今回の学びを共有して現場で活かしていきます。ありがとうございました。								
2	がん患者から外見に対しての質問や思いについての発言が聞かれる場合がある為、情報のアップデートや一緒に考えることの必要性を学ぶことができました。								
3	とても勉強になりました。悩みの本質を探れるようサポートしていきたいです。								
4	コミュニケーションを大切にすることが、アピアランスケアには重要だと気づかされました。視点を変えて、色々な面から考えていきたいと思いました。								
5	今後、県内自治体がウィッグ助成を行うにあたり、重要なお話でしたし、助成額についても大事な考え方について知ることが必要だと思いました。								
6	とても具体的で分かりやすく勉強になりました。明日から話せます。								
7	勉強になりました。臨床に活かしていきます。								
8	とても勉強になりました。								
9	講演やグループワークを通して、本質は何か考えるきっかけになりました。今後、認知（心理的問題）、社会的問題、身体的問題をふかんして見れるよう意識して現場で行動してみたいと思います。松本さんが述べていた「患者として」ではなく「人として」対応することを心がけたいと思います。								
10	ふみこんだ勉強会だったのでとても参考になりました。ありがとうございました！								
11	ウィッグの種類をたくさん知り、患者さんへアドバイスする知識がふえ良かったです。ありがとうございました。患者を認知する！本質を知る、一歩下がって患者ではなく、相手の視点で考える。								
12	ウィッグは高くても安くても見た目ではわからないことが実感できました。野澤先生のご講演を聞いて、アピアランスの知識を得ることができ、日々知識や情報を更新しながら、窓口相談のシミュレーションをして実践することが大切だと感じました。松本さんのお話から、当事者の方々の視点に立って相談対応できるように日々、思いを察して寄り添い対応をすることを心がけて行いたいと思います。								
13	先生お2人の講演は理解しやすくとても勉強になりました。ただグループワークの際に、実際にどう相談の場で展開するかとどまってしまっていました。ワークのあとで、野澤先生や松本さんの補足説明があってようやく府に落ちました。「患者さんはアピアランスに悩むとき誰のことを想像しているのか？」を意識しながら対応したいと思います。								
14	アピアランスケアについて患者と社会をつなぐこと、患者のボディーイメージに対する周囲の立場として意見を伝えることが大切、認知を変えることが大切。								
15	とても勉強になりました。アピアランスは外見ケアを思っていたのですが、心理的社会的な面がとても大切だと学ぶことができました。								
16	他施設の方とディスカッションができてとても有意義な時間になりました。また、アピアランスケアの根かん部分に気づくことができ、今後活かしていきたいと思いました。								
17	非常に勉強になりました。特に相談者の目的をしっかり掴むようにしていきます。								

アピアランス支援モデル事業 中間報告会

琉球大学病院

責任者：がんセンター 増田昌人

実地者：緩和ケアセンター 砂川 華

発表内容

I アピアランスに関する相談支援・情報提供体制整備の状況と課題

1. 相談支援体制の整備状況

2-1. アピアランスケア担当者と一般職員との相談・支援の違い

2-2. アピアランスケア担当者が相談支援を行う患者のアセスメント方法

3. 難易度の高い相談の種類と対処方法

4. アピアランス支援やケア展開に関する現状の課題

II 院内外の教育・研修に関して

III 患者向け資材に関して

1. モデル事業実施中に活用した患者資材

2. 患者向け資材に関する課題や要望

発表内容

I アピアランスに関する相談支援・情報提供体制整備の状況と課題

1. 相談支援体制の整備状況

2-1. アピアランスケア担当者と一般職員との相談・支援の違い

2-2. アピアランスケア担当者が相談支援を行う患者のアセスメント方法

3. 難易度の高い相談の種類と対処方法

4. アピアランス支援やケア展開に関する現状の課題

II 院内外の教育・研修に関して

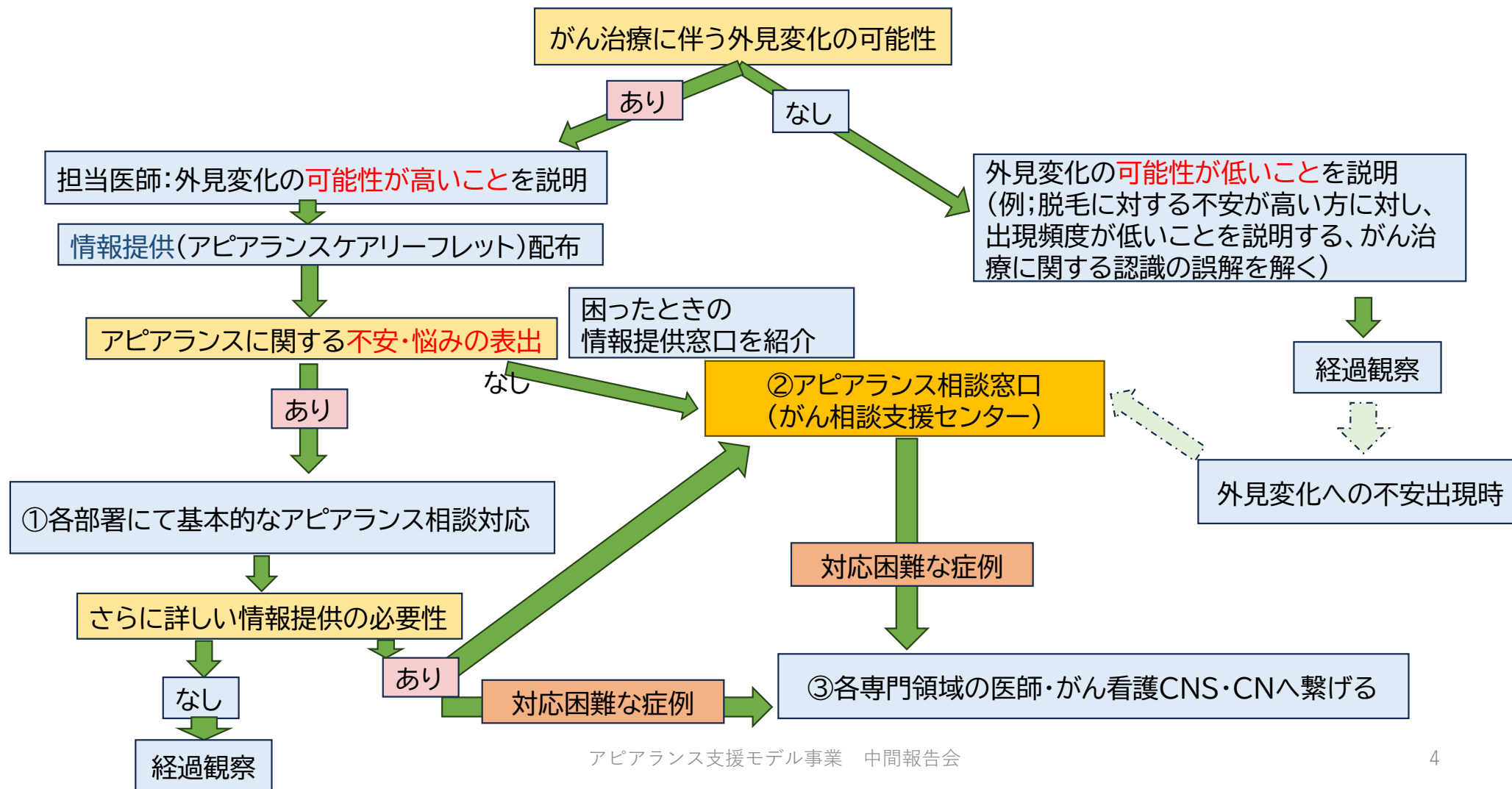
III 患者向け資材に関して

1. モデル事業実施中に活用した患者資材

2. 患者向け資材に関する課題や要望



1. 相談支援体制の整備状況



2-1. アピアランスケア担当者と一般職員との相談・支援の違い

担当者	相談内容	相談時期	支援内容
一般職員 現場スタッフ	脱毛	脱毛後	・ 脱毛した患者さんから直接相談があったときに相談対応 ・ ウィッグ業者のパンフレットを渡す ・ 入院中の環境整備 ・ タオル帽子の提供
アピアランスケア担当者（以下の3名）			
緩和ケアセンター がん看護CNS	脱毛 皮膚障害	脱毛前 治療開始前	・ 治療・脱毛に関し誤った認識をしていないかの確認 ・ 脱毛後の予測される日常生活・社会生活への不安を聞き出す ・ ウィッグの具体的な探し方、方法をリーフレットを用いて助言
血液内科 緩和ケアCN	脱毛 皮膚障害	治療中	・ 主に男性のアピアランス相談
がん相談支援センター MSW	脱毛	外来通院中 治療中	・ 県内各地のウィッグ取扱店舗の紹介 ・ ウィッグ購入場所、実際の試着を希望する方も多い ・ その他の社会資源、助成金制度の説明

2-2. アピアランス担当者が相談支援を行う患者のアセスメント方法

相談内容	担当者	相談時期	アセスメント方法
脱毛	一般職員 現場スタッフ	脱毛後	・ 脱毛した患者さんから直接相談があったときに相談対応
アピアランス担当者（以下の3名）			
脱毛 皮膚障害	アピアランスモデル事業実地者 (緩和ケアセンター がん看護CNS)	脱毛前 治療開始前 の不安	・ 治療・脱毛に関し誤った認識をしていないかの確認 ・ 脱毛後の予測される日常生活・社会生活への不安を聞き出す ・ ウィッグの具体的な探し方、方法をリーフレットを用いて助言 【アセスメント;評価方法】 STAS-J がん患者指導管理(口):心理的ケア・面談として介入 ＜該当する項目＞ ①痛み以外の症状が患者に及ぼす影響 ②不安が患者に及ぼす影響 ③患者・家族に対する医療スタッフのコミュニケーションの項目が2以上の場合
脱毛 皮膚障害	血液内科 緩和ケアCN	治療中	男性視点でのアピアランス相談の予測
脱毛	がん相談支援センター MSW	外来通院中 治療中	特になし

3. 難易度の高い相談の種類と対処方法

難易度の高い/よくある相談内容	対処方法
症例1:60歳代、女性、離島からの入院 ・ 医師から脱毛のリスクは低いと聞いていたのに抜けているから余計にショックを受けた。もともと人と会うのが好きだが、最近は連絡をとっていない、顔をみせてないことで周囲から心配の連絡が絶えない ・ 次に地元に帰るときは、すべて髪の毛が抜けていると思うと余計に不安	①初回対応:これまでの生活様式や他人との接触、好きなことを聞きとり。脱毛頻度のリスクは低い治療のデータではあったが、本人にとっては大変ショックであることを受け止めながらお話をきいた ②患者サロンへの案内 ⇒他患者仲間から手頃なウィッグの紹介をきいて少し安堵された様子がみられた
症例2:30歳代、女性、骨肉腫、抗がん剤治療 ・ 仕事を続けたいので治療は短期間入院が希望 ・ 職場にはできるだけ病気のことを隠しておきたいので、急いでウィッグを準備しておきたい	① 治療前から本人の仕事に対する思いを聞き取り ②職場の様子に合わせた対応を確認した 結果⇒本人が4種類ほどウィッグを購入した。 ウィッグをチェンジしながら治療と仕事を継続している
症例3:60歳代、男性、肺がん、免疫チェック阻害薬 ・ 副作用で全身に湿疹・かゆみが出現した状態で外来受診してきた ・ 赤い顔で外に出る、人と会うことができない	緊急性が高い状態だと判断 ・ 呼吸器内科医師へ報告し治療に伴う副作用irAEの可能性と診断あり、主治医から皮膚科医師へコンサルト、ステロイド投与開始となった

4. アピアランス支援やケア展開に関する現状の課題

- ✓ アピアランスに関する悩みを抱えている患者に対するスクリーニング(気づける医療者)を増やす
- ✓ 院内のアピアランスケアへの取り組みについて、だれが、どこで、どのような場面で対応することができるかを明確化したフローチャートを完成させ、周知すること
- ✓ 難易度の高い相談の場合、各領域の専門家に早期につなげる、コンサルトできる体制づくり

発表内容

I アピアランスに関する相談支援・情報提供体制整備の状況と課題

II 院内外の教育・研修に関して

1. 実践状況
2. 教育研修の際に重点を置いたポイント
3. 教育・研修に関する受講者のニーズ
4. 受講者の変化
5. 教育・研修に関する課題
6. 教育研修以外にもスタッフのアピアランスケアに対するモチベーションアップに向けた取り組み

III 患者向け資材に関して

1. モデル事業実施中に活用した患者資材
2. 患者向け資材に関する課題や要望

1. 実践状況：①院内医療者対象

開催場所	琉球大学病院
開催日時	11月14日(火)17:30～18:30
場所	琉球大学病院
開催方法	オンライン＋オンデマンド配信
対象	院内のがんに関わる全ての医療者
実際の参加者	18名 医師、薬剤師、看護師、MSW
形式	講演会方式 1. 講師：ピアサポーター「患者が求めるアピアランスケア」 2. 講師：院内アピアランスケア担当者(看護師)「新しいアピアランスケアの考え方」

1. 実践状況：②院外医療者対象

開催場所	琉球大学病院	沖縄県立八重山病院	沖縄県立宮古病院
開催日時	12月17日(日) 13:00～17:00	1月26日(金) 17:30～19:30	3月1日(金) 17:30～19:30
開催方法	対面	対面	対面
対象	県内のがんに関わる全ての医療者	がんに関わる全ての医療者(+行政関係者)	がんに関わる全ての医療者(+行政関係者)
実際の参加者	42名 医師、薬剤師、看護師、MSW、保健師(行政担当者、大学教員、ピアサポーター、患者会) 拠点病院等、一般病院、豊見城市、沖縄市、患者会		
形式	講演とグループディスカッション 1. 講師:アピアランスケア研究者(看護師)「臨床で活かすアピアランスケア」 2. 講師:ピアサポーター「患者が求めるアピアランスケアとは？」 3. グループディスカッション	講演とグループディスカッション	講演とグループディスカッション

1. 実践状況：③患者対象

開催場所	琉球大学病院				八重山病院	宮古病院
形式	アピアランスケア 相談会	WEB患者サロン	患者サロン	男性向けWEB 患者サロン	患者サロン	患者サロン
開催日時	6月、10月、12月 15:00～16:30	11月21日 14:30～15:30	12月7日 14～16時	2024年2月	2024年1月 17日(土)午前	2024年3月2 日(土)午前
開催方法	対面	WEB	対面	WEB	対面	対面
対象	全ての患者	全ての患者	全ての患者	男性患者	全ての患者	全ての患者
参加者	2名 (女性2)	3名(男性2、女 性1)	7名(男性2、 女性5)			
内容	ウィッグ試着会・ 相談会	アピアランスケア についての講演 ＋相談	アピアランスケ アについての 講演＋相談＋ ハンドクリーム の塗り方	男性向けのア ピアランス相 談会	アピアランスケ アについての 講演＋相談	アピアランスケ アについての 講演＋相談
2024/1/5		アピアランス支援モデル事業 中間報告会				12



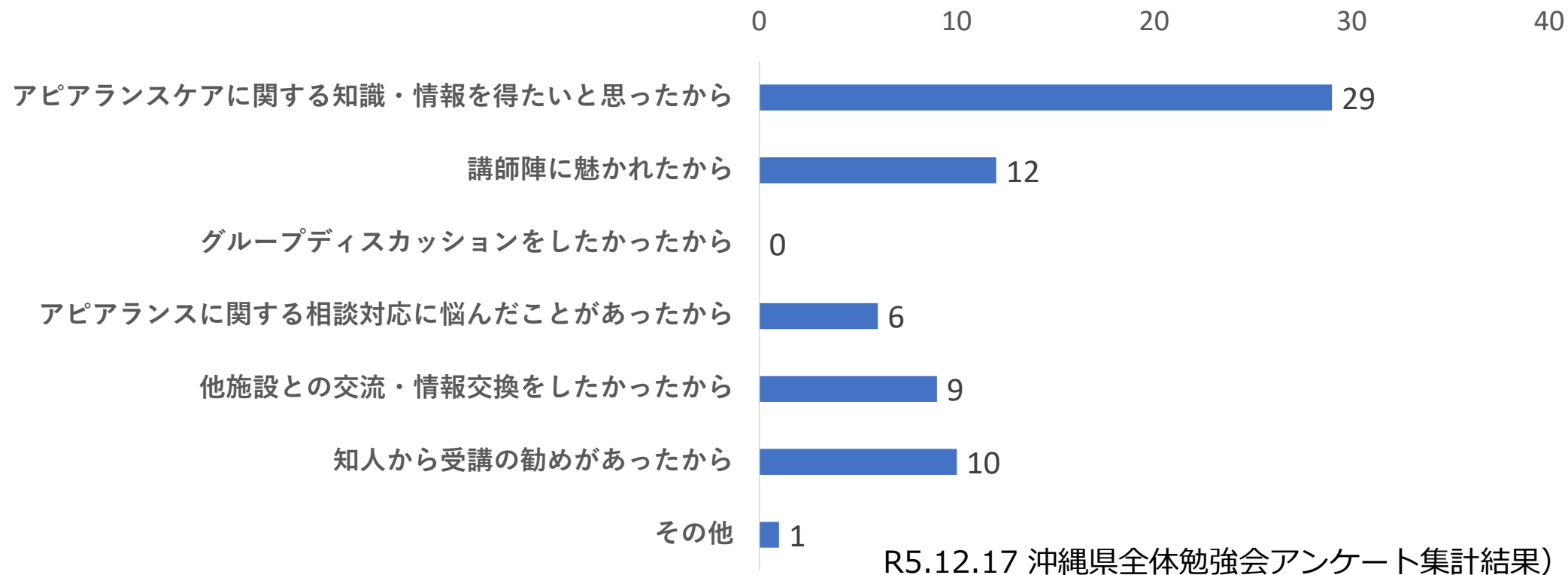
2. 教育研修の際に重点を置いたポイント

- ✓ アピアランスケアとは、審美性を着目したケアではなく、がんになってもその人らしく社会で生活できるような支援であることを重点に伝える
- ✓ 医師・看護師・薬剤師・相談員といったアピアランスケアに関わる多職種間での情報交換・連携を図る
- ✓ 離島も含めて県内全域のレベルアップを図る
- ✓ オンラインの研修だけではなく、対面での研修を開催する
- ✓ 都道府県がん診療連携拠点病院と他の地域がん診療連携拠点病院や各施設、行政と情報交換できる場をもつ

3. 教育・研修に関する受講者のニーズ(1/3)

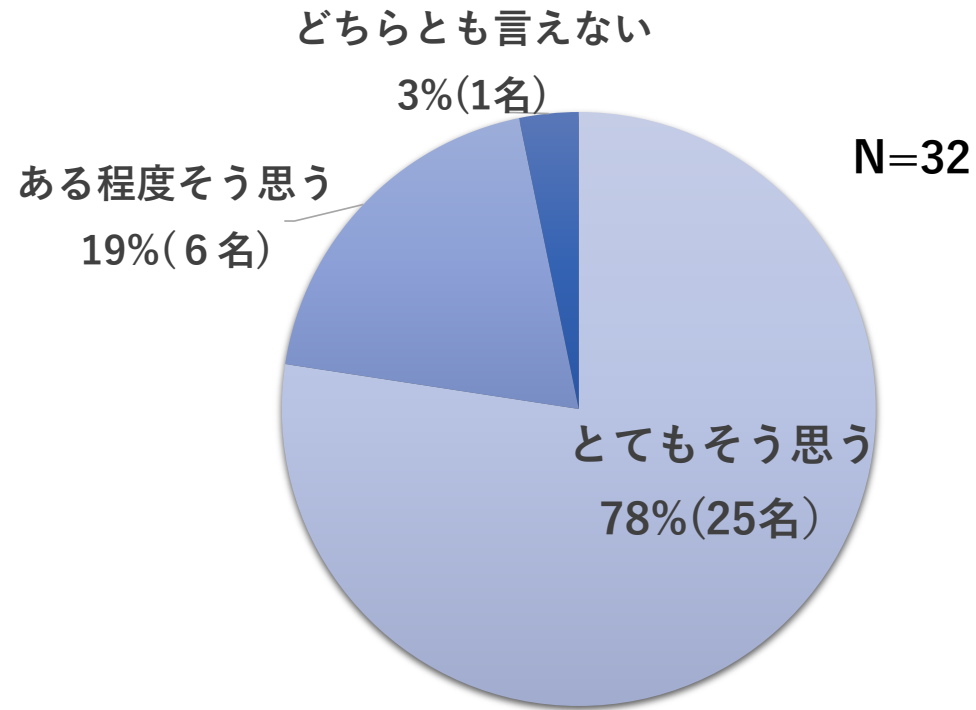
アピアランス県全体勉強会に参加しようと思った動機

複数選択 N=67件 (32名)



3. 教育・研修に関する受講者のニーズ(2/3)

今後もアピアランスケアに関する勉強会の参加希望はありますか？



R5.12.17 沖縄県全体勉強会アンケート集計結果より)

3. 教育・研修に関する受講者のニーズ(3/3)

企画・開催を希望する研修のテーマや内容について意見

- サバイバーシップケア
- 爪などの変化に対するケアについて
- 実際の患者体験の話をきけたこと。
- 実際の困りごとへの対応・対策
- 各種職場の人達が参加する研修がよいと思います。
- アピアランスについてもっと多くのスタッフへ研修開催をしてほしい

沖縄県全体勉強会アンケート集計結果(2023年12月17日)



4. 受講者の変化

- ✓『アピアランス』という言葉の認識は少しずつ広まっている
- ✓興味・関心のある医療従事者から、口コミで研修の評価やアピアランスケアに関心を持つスタッフを増やす
- ✓受講者の変化は、院内・院外ともに実感できていない。
＊モデル事業施設における受講者の変化の評価方法を知りたい



5. 教育・研修に関する課題

課題項目	院 内	院 外
人的	アピアランスケアに興味・関心があるスタッフ教育の定期的な開催	都道府県がん拠点病院以外の地方の各病院と施設の現状の把握
	Eーラーニング受講者のフォローアップ実践に活かせることを周知する	各施設のアピアランス担当となる人材とのネットワークづくり
時間的	・研修時間の確保	・移動時間
金銭的	・院外講師の招聘 ・場所の確保⇒オンラインも活用しながら、実践内容(対面式)も併行する ・資材等の準備	・交通費等の負担



6. 教育研修以外にもスタッフのアピアランスケアに対するモチベーションアップに向けた取り組み

- ✓ 興味・関心のあるスタッフへの声かけ
- ✓ 手作りタオル帽子を作成しているボランティアへの声かけ
- ✓ 役に立っているという患者の生(なま)の声を伝える
- ✓ 相談を受けた患者の変化、よかったことを相談者へ伝える
- ✓ アピアランスケア実施後の成功体験を医療従事者間、医療者患者間でも語りあうこと

発表内容

I アピアランスに関する相談支援・情報提供体制整備の状況と課題

1. 相談支援体制の整備状況
2. 担当者と一般職員との相談・支援の違い
またアピアランスケアの担当者が相談支援を行う患者のアセスメント方法
3. 難易度の高い相談の種類と対処方法
4. アピアランス支援やケア展開に関する現状の課題

II 院内外の教育・研修に関して

III 患者向け資材に関して

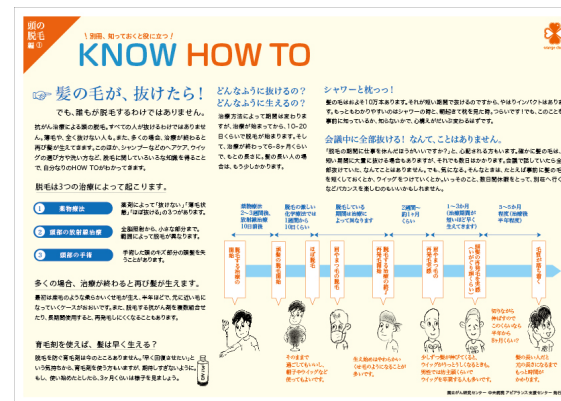
1. モデル事業実施中に活用した患者資材
2. 患者向け資材に関する課題や要望



1. モデル事業実施中に活用した患者資材

1. 脱毛前の活用資材

- ・リーフレット①髪が抜けますと言われたら
(横浜市×アピアランス支援センター作成リーフレット)
- ・別冊KNOW HOW TO(国立がん研究センター中央病院作成)
- ・生活の工夫カード(国立がん研究センター中央病院作成)



2. 脱毛後の活用資材

- ・ウィッグ(見本・試着用 成人女性用2点と小児用1点)
- ・各販売店が発行する商品パンフレット
- ・タオル帽子、ケア帽子(見本)
- ・定期的な相談会を開催し試着体験
⇒ウィッグ業者には試着のみで、その場での販売はしない
もし購入希望の場合は、病院外の店舗にて直接購入





2. 患者向け資材に関する課題や要望

1. リーフレットの配布場所、資材の管理方法

- 現在は相談窓口や相談対応した患者に対し、リーフレットを見せながら説明している
⇒各部署にリーフレットを設置する
診療科医師から場面に応じて情報提供をする。
- ウィッグ等の破損・紛失時の対応、補償について
- 相談窓口以外の資材管理の方法（現在は部署の責任者に任せているが一括管理したほうが良いのか？）

2. リーフレットの説明方法のポイントを周知する

- 実際の説明ポイントを習得できるような教育・研修会を開催する

今後に向けて、必要なこと

1. アピアランスケアe-ラーニング受講者が、学んだ知識を実践に活かしていけるようなフォローアップ体制を作ることが必要である
2. 院内のアピアランスケアへの取り組みについて、だれが、どこで、どのような場面で対応することができるかを明確化したフローチャートを完成させ、周知することが必要である
3. 離島・へき地を含めて沖縄県全体のアピアランスケアの均てん化に向けた研修会や情報交換会を定期的に行うことが必要である
4. 患者さんへの啓発活動を通じて、医療者に対して、自由に意見を言えるような働きかけが必要である
5. 今年度のアピアランスケアモデル事業後、来年度以降も継続して支援できるように取り組むことが必要である

アピアランスケア八重山勉強会・相談会

開催報告

実施日：令和6年1月26日（金）・27日（土）

主催：がんセンター/共催：八重山病院

【名称】

令和5年度 アピアランスケア八重山勉強会・相談会

【目的】

アピアランスケア勉強会

・当院が採択を受けた令和5年度アピアランス支援モデル事業において、沖縄県の離島のがん診療に関わる医療従事者のアピアランスケアに対する知識、意欲向上を図る。

アピアランスケア相談会

・がん患者とそのご家族を対象に、ウィッグの試着や、個別的に相談会を行い、がん治療における外見ケアに対する悩みや、がん治療中における疑問等について個別相談を行う。

1.名 称 令和5年度 アピアランスケア八重山勉強会・相談会

2.日 時 令和6年1月26日（金）17：00～18：30

令和6年1月27日（土）10：00～12：00

3.対 象 石垣島のがん診療に関わる全ての医療従事者、がん患者さんとそのご家族、アピアランスケアに関心がある方・知識を深めたい方

4.場所 八重山病院

5.主 催 琉球大学病院がんセンター（共催 八重山病院）

6.プログラム

アピアランスケア勉強会

<講 義>

「がん治療に伴う外見変化への悩みに寄り添うケア（アピアランスケア）の基礎知識」

琉球大学病院 がん看護専門看護師 砂川 華

<デモンストレーション>

「明日からできる！アピアランスケアの実践」

琉球大学病院 がん看護専門看護師 砂川 華

緩和ケア認定看護師 中村 翼

アピアランスケア相談会

<講 義>

「治療中でも自分らしく過ごすための外見ケア」

琉球大学病院 がん看護専門看護師 砂川 華

<ウィッグ試着・個別相談会>

【スタッフ】

名前	所属	担当
増田 昌人	がんセンター長	責任者
砂川 華	がん看護専門看護師	講師
中村 翼	緩和ケア認定看護師	講師
比嘉 優花	がんセンター	スタッフ
大嶺 真希	がんセンター	担当者

【タイムスケジュール】

開始	終了	時間	内 容	講師・担当者
17:00	17:05	5分	開会のあいさつ	八重山病院 院長
17:05	17:10	5分	趣旨説明	琉球大学病院 がんセンター長 増田 昌人
17:10	17:40	30分	がん治療に伴う外見変化への悩みに寄り添うケア（アピアランスケア）の基礎知識	琉球大学病院 がん看護専門看護師 砂川 華
17:40	17:45	5分	休憩	
17:45	18:15	30分	明日からできる！アピアランスケアの実践	琉球大学病院 がん看護専門看護師 砂川 華 緩和ケア認定 看護師 中村 翼
18:15	18:25	10分	質疑応答・全体振り返り	
18:25	18:30	5分	アンケート記入	参加者各自
18:30			閉会	

【参加者数】

アピアランスケア勉強会：37 名 アピアランスケア相談会：15 名

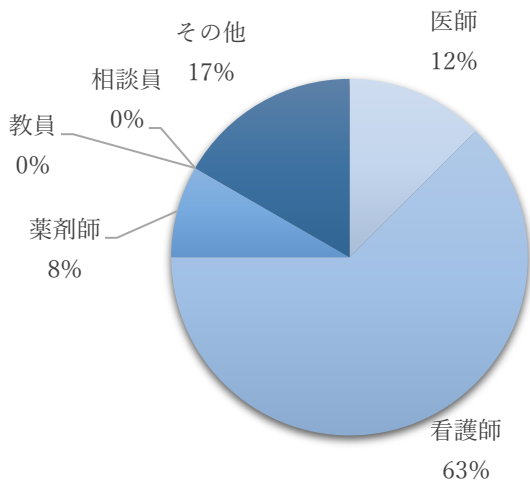
【振り返り】

- ・1 日目の勉強会の申込方法は、QR コードと FAX、メールにて申込を行ったが、F A X のみの応募で参加者が募った。2 日目の相談会は、参加者に配慮し、がん患者として参加することに人目を気にして抵抗があるなど、離島の地域性を考慮し、当日参加可能、申込不要とした。
- ・勉強会には、がん拠点病院の八重山病院だけでなく、訪問看護ステーションや徳洲会病院からの参加もあり、医師、看護師、薬剤師、リハビリなど、多職種が参加された。
- ・参加人数は、勉強会は 37 名、相談会は 15 名。
- ・デモンストラーションは、男性の患者さんの立場（患者役中村さん）で行われた。
- ・アンケートにて、勉強会の開始時間が、医療者側の勤務時間と被るため、遅めに調整してほしいと意見があった。
- ・相談会の参加者は、八重山病院にて、化学療法室のスタッフのご協力のもと、直接患者様へ周知していただき、患者会のグループラインなどでも参加を呼びかけたとのこと。会場は 2 日間とも同じ場所（八重山病院で同じ会場）で、30 席ほどの講堂で行われた。
- ・相談会にて、医療用のマニキュアの購入先についての情報が欲しいとの質問が複数人からみられた。
- ・相談会は、半分のテーブル席にパンフレットやウィッグを置き、席から手に取れる場所にそれぞれ設置していただいた。ウィッグの場所にはパーテーションを設置し、ウィッグを気軽に試着できるようにしていた。
- ・高校生による手作りのケア帽の展示もあり、参加者に無料で配布できるようにしていた。
- ・院長の開会の挨拶もあり、勉強会や相談会に院長も参加されていた。
- ・事前に、ウィッグやマネキンとともに、配布資料など荷物を宅急便にてお送りした。

【アンケート回答結果】

令和6年1月26日（金） アピアランスケア八重山勉強会アンケート結果（24名分）

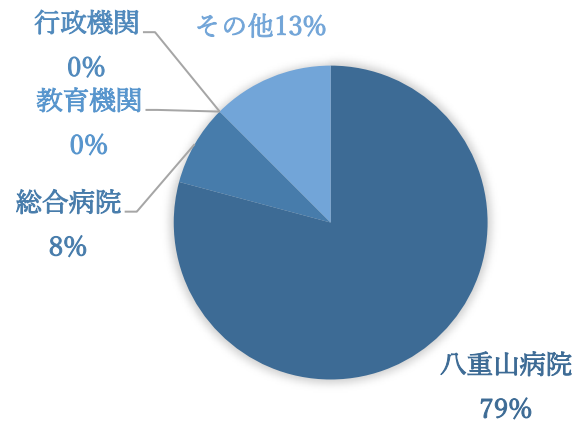
Q1.あなたのご職業を教えてください。



Q1.その他

- ・補助員

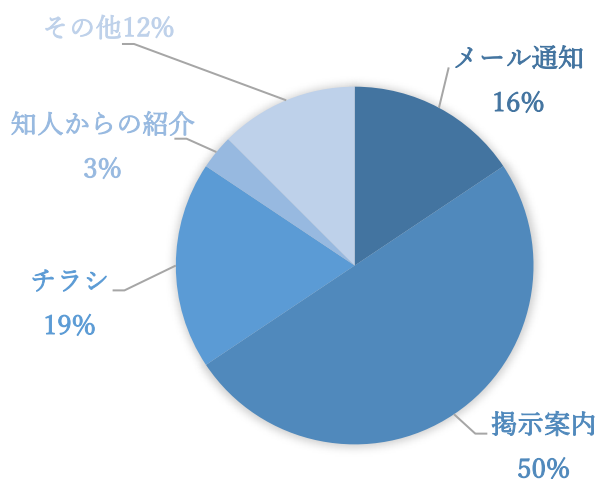
Q2.あなたの所属する施設を教えてください。



Q2.その他

- ・徳洲会病院
- ・訪問看護ステーション

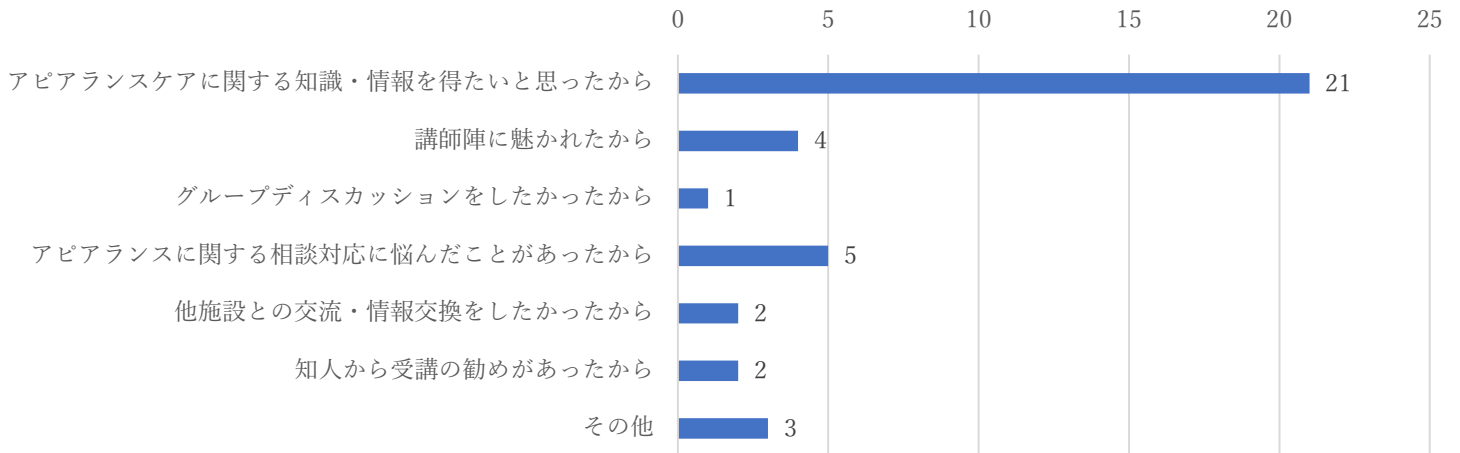
Q3.今回の研修は、何で情報を知りましたか
（複数回答可）



Q3.その他

- ・八重山病院スタッフより教えて頂きました
- ・当院ナースより
- ・院内からの連絡（地連からの）

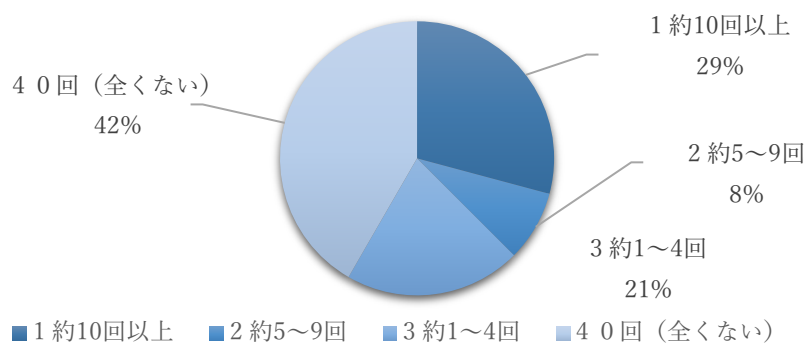
Q4.あなたが今回の研修に参加しようと思った動機を教えてください。（複数選択可）



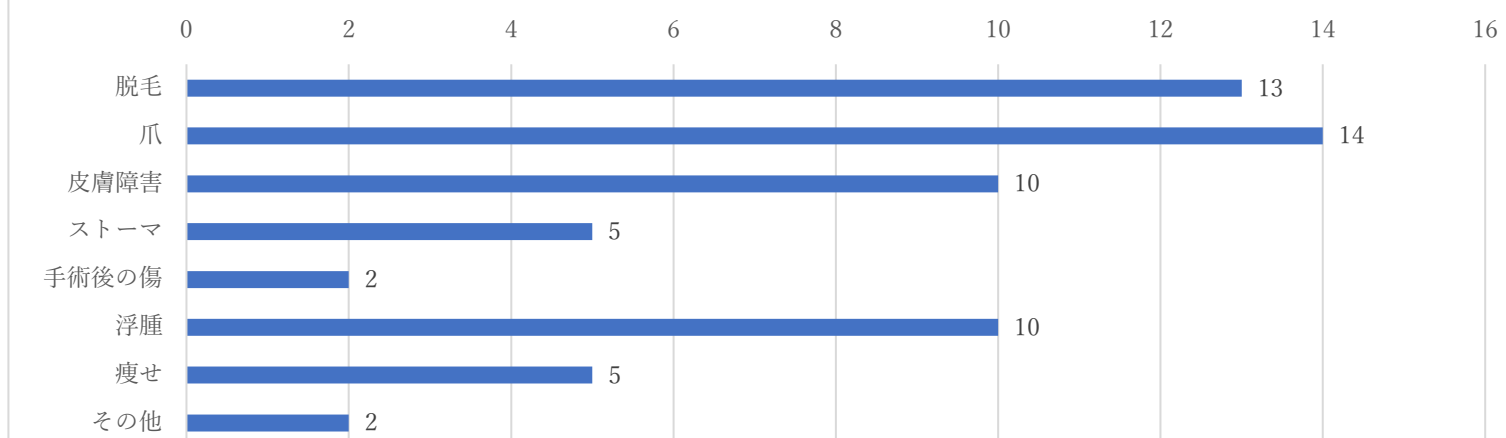
Q4.その他

- ・ケモセンターの対応で実践できると考えたから
- ・身近な人の外見変化の対応に悩んだことがある
- ・家族が抗がん剤治療による脱毛、爪の変色があったから興味があった。

Q5. (1) あなたはこれまでにアピアランスに関する相談を計何回ほど受けたことがありますか。



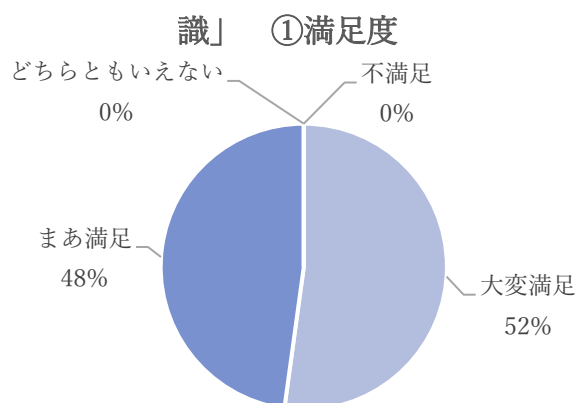
Q5. (2) アピアランスに関する相談を受けた方へお尋ねします。あなたが受けたことがある相談内容にあてはまるものすべてに☑してください。 (複数回答可)



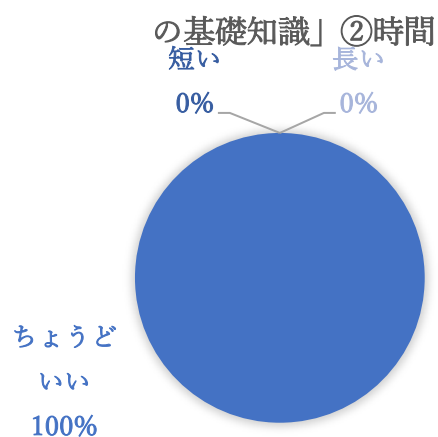
Q5.その他

- ・色素沈着
- ・ポートについて

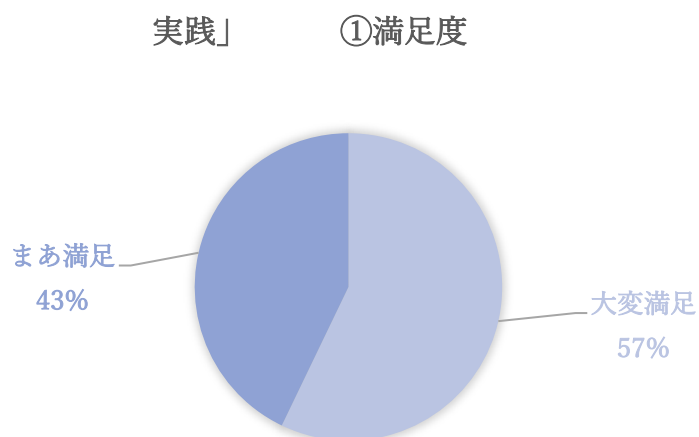
(1) 「がん治療に伴う外見変化への悩みに寄り添うケア（アピアランスケア）の基礎知識」



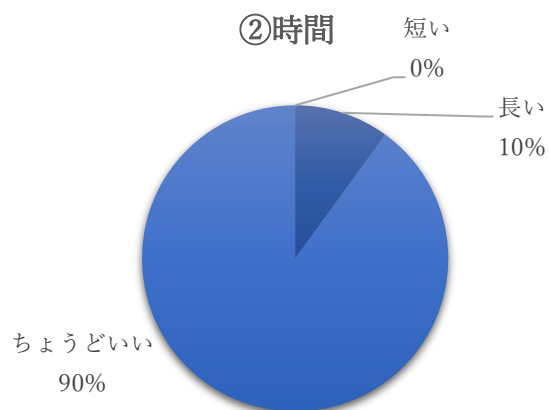
(1) 「がん治療に伴う外見変化への悩みに寄り添うケア（アピアランスケア）の基礎知識」



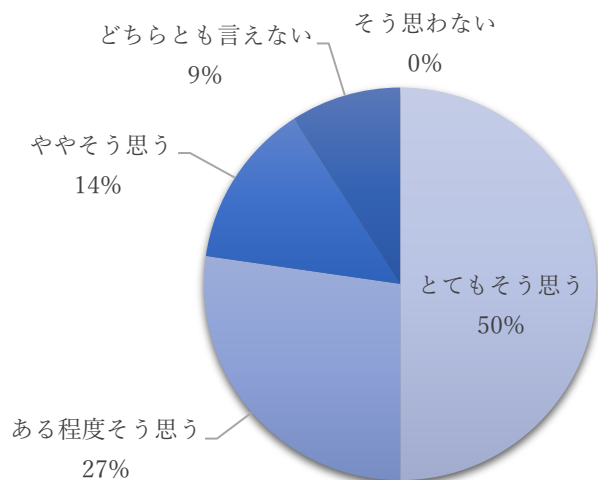
(2) 「明日からできる！アピアランスケアの実践」



(2) 「明日からできる！アピアランスケアの実践」



Q8. (1) 今後もアピアランスケアに関する勉強会があれば参加したいと思いますか



Q7. (2) 企画・開催を希望する研修のテーマや内容についてご意見がありましたら下記へご記入ください。

- ・良かったです
- ・今回は脱毛だったので、爪のケアやメイクなど他の項目も知りたいです
- ・身体、見た目のような被ることで隠せるけど、沖縄のように暑い場所ではどう対処できるか？
- ・爪などの変化に対するケアについて

Q8. その他、本日の勉強会に関するご感想やご意見などがありましたら自由にご記入ください。

・アピアランスケアは患者さんにとって身近であるため、がん看護に携わるスタッフとして対応を学ぶことができたて良かったです。ありがとうございました。

・医療従事者として情報は正しく伝え、患者さんの悩みに寄り添い、手助けできるよう今後もいろんな情報仕入れて、生かしていきたい。

・いただいた資料がわかりやすく、明日から使えるような実践的なもので良かったです。活用していこうと思います。患者対応の実例のでもストレーションも非常に勉強になりました。

・経済的な問題をかかえた患者さんへの高価なウィッグをすすめるのも難しいと感じていたので、高価なウィッグ以外にも様々な対応方法があることが知れて良かったです。デリケートな話題になりやすく、話を聞く時にも知識が足りていないと感じていたのでとても良い機会になりました。ありがとうございました。

・離島まで足を運んでもらいありがとうございます。見た目だけでなく、がんの恐怖の部分（心の中の声）に寄り添えるように、今回の知識を活用していきたいと思います。

・身体的な側面やボディイメージの変容に関わっていましたが、患者さんの心理的面、社会的側面も含めて一緒にアピアランスケアについて教えていきたいと思いました。

・デモブは、声かけ方法などイメージしやすく、分かり易かったです。

・デモストレーションとても分かりやすかったです。ありがとうございました。

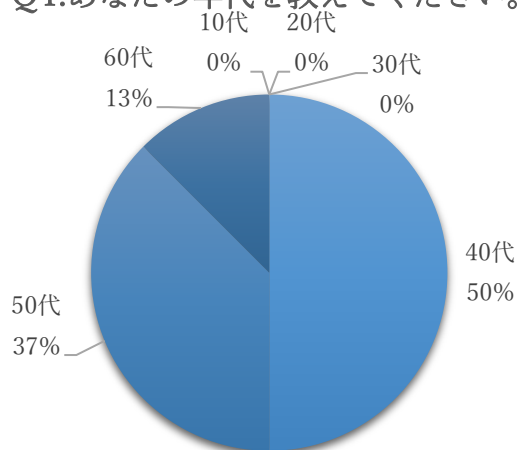
・患者様の辛い気持ちを考える良い機会になりました。有難うございました。

・勤務終了後になるので、できれば時間を少しずらしてもらえれば最初から出席できることができればと思います。患者さんに即アドバイスできる内容でとても良かったです。

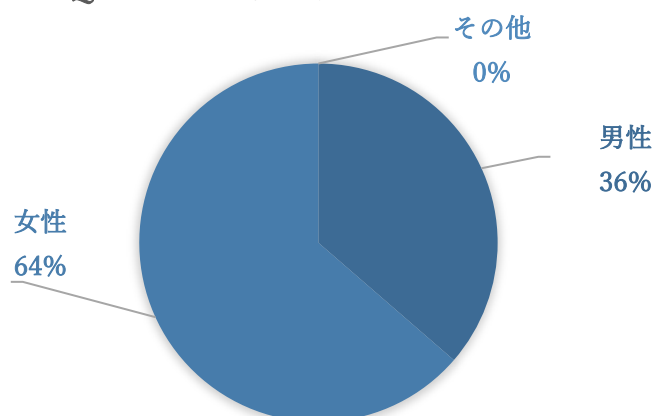
【アンケート回答結果】

令和6年1月27日（土） アピアランスケア八重山相談会アンケート結果（11名分）

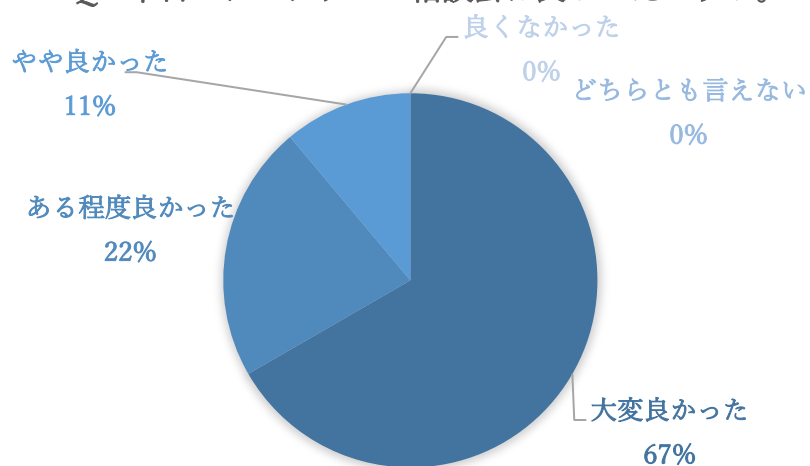
Q1.あなたの年代を教えてください。



Q2.あなたの性別教えてください。

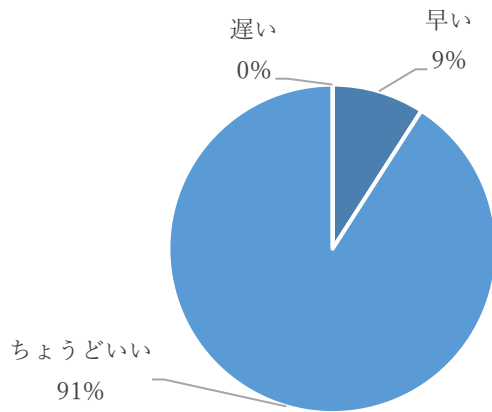


Q3.本日のアピアランス相談会は良かったですか。



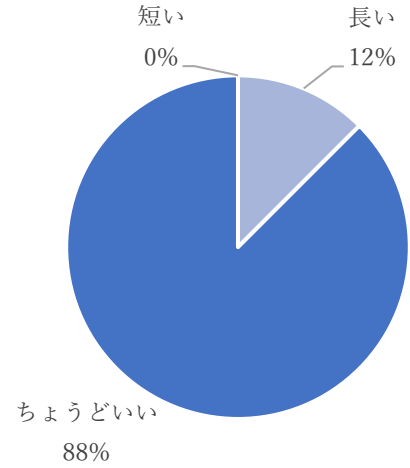
Q4.相談会の時間設定はいかがでしたか。

会の開始時間：



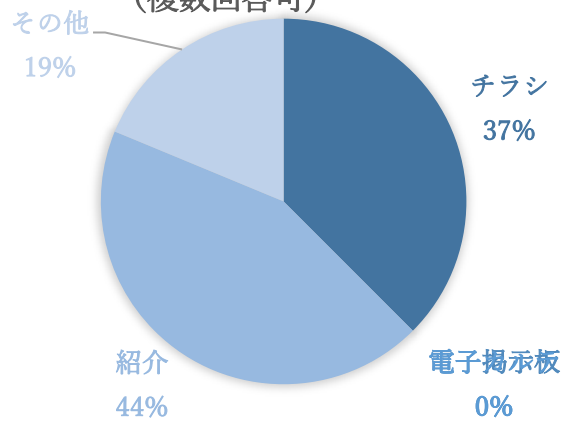
Q4.相談会の時間設定はいかがでしたか。

会の開催時間：



Q5.本日の相談会は、何をきっかけに知りましたか。

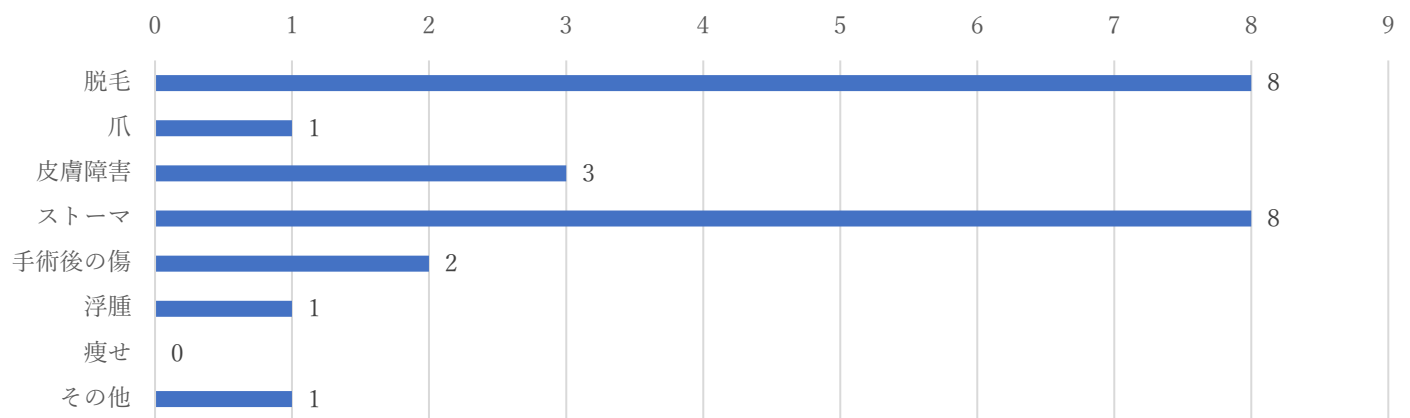
(複数回答可)



Q5.その他

- ・病院のスタッフ
- ・琉大がんセンターからの案内
- ・患者会のグループライン

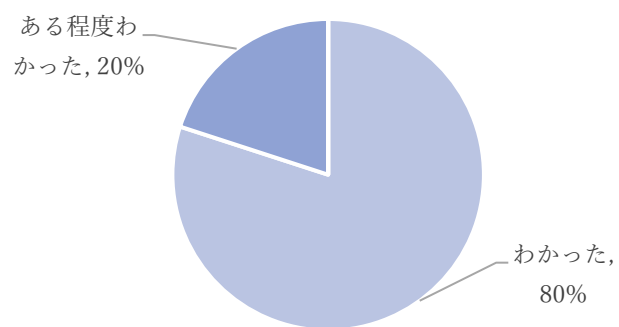
Q6.本日の相談会に参加しようと思った動機を教えてください。 (複数回答可)



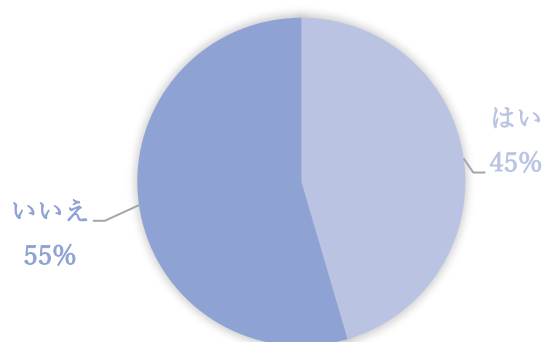
Q6 その他

自分の経験から、手作りで作りたいものの参考にしたい。乳がんコミュニティをやっていきたいので知識を得るため。

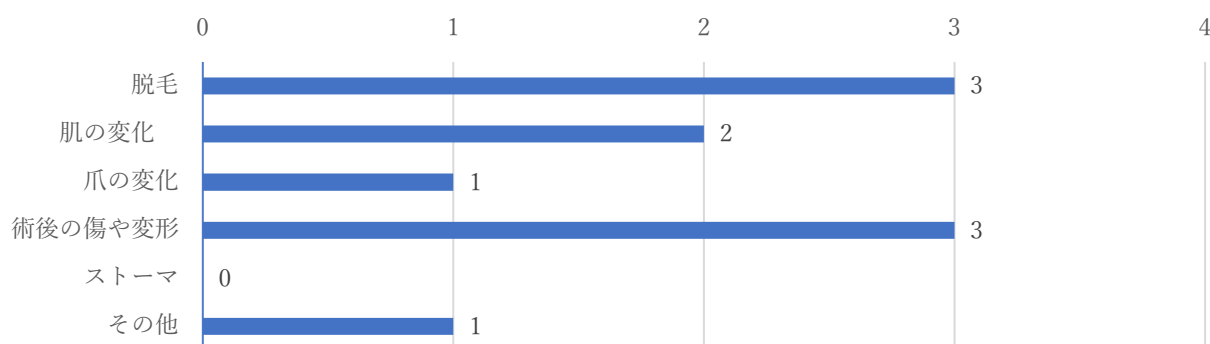
Q8. 「アピアランスケア」について理解できましたか。



Q9. あなたはこれまでに、治療に伴う外見変化（アピアランス）に関する悩みを抱えていたことがありますか。

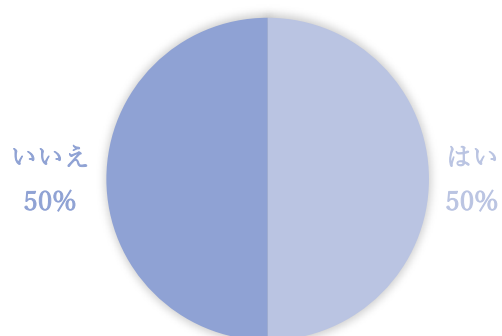


「はい」の方は、具体的な悩みもあわせてお答えください。（複数回答可）

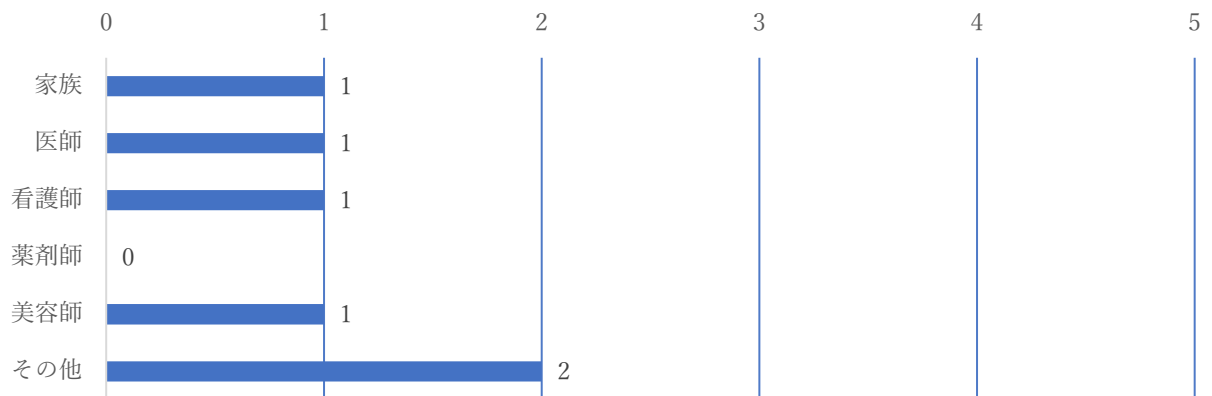


その他 どう違和感なくみつくろうか

Q10. 治療中の外見変化（アピアランス）に関する悩みに対し、周囲に相談したことはありましたか。

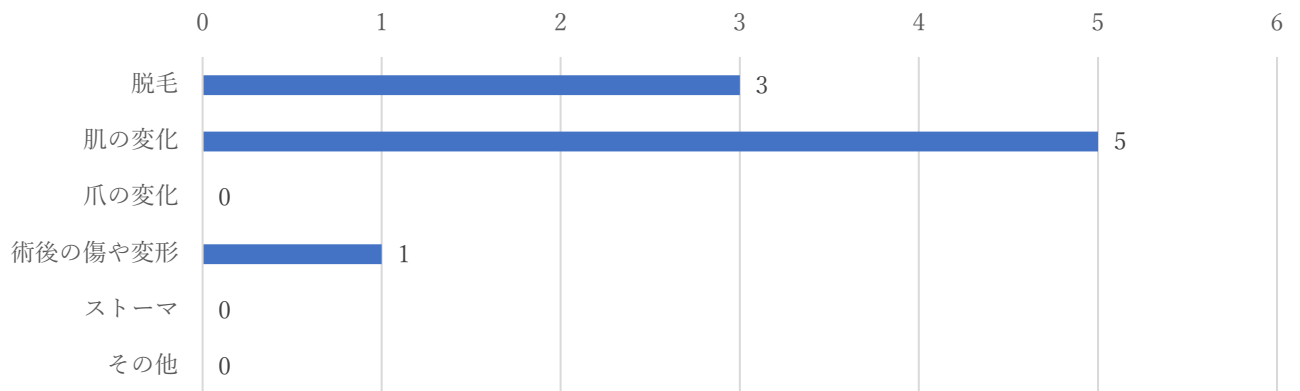


「はい」の方は、だれに症状を相談しましたか。（複数回答可）

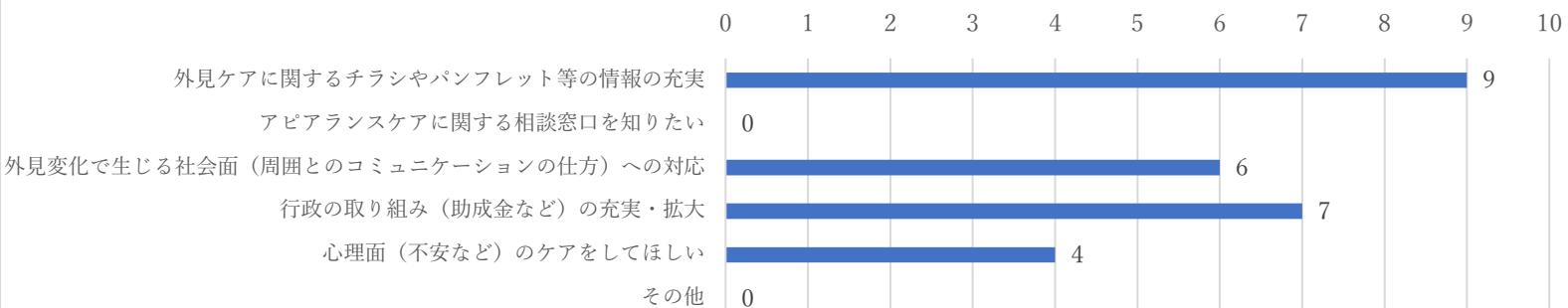


その他 ・ ガン友 ・ おしゃれ上手な友人

「はい」の方は、具体的にどのような症状を相談しましたか。（複数回答可）



Q11.病院内でのアピアランスケアの相談対応で、今後取り組んで欲しいことがあれば教えてください。（複数回答可）



Q14.本日の相談会に関するご感想や、ご要望など何かあれば自由に記入してください。

- ・離島僻地であるため、可能であれば年1回程度の相談会等の開催があれば良いと思います。参加者が少ないのは残念ですので、事前に新聞での「誘い」の掲載等で案内した方が良いのではと思いました。
- ・いろいろな悩みがあることが解りました。対応の仕方が解られた。自分とは違う悩みがあることがわかりました。
- ・2日間アピアランスの勉強会、実践もありとてもよかったです。アピアランスケアに活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・離島のため、なかなか情報や店が少なく、外出する機会や人に会うことを避ける人もいます。このような会をもっと多く設けて市民の人に共有したいなと思いました。大切な情報をありがとうございました。
- ・気軽に安心して相談できる場所の設定をして欲しい。広報の仕方（アピアランス相談コーナーが利用できること）を工夫。→多方面で紹介する→とても良い支援です。ケアサポートの設置。
- ・今まで知らなかった事を知れて良かった。大変参考になりました。
- ・岩崎さんとも話しましたが、乳がんコミュニティを立ち上げたいと思ってますので、アピアランスケア・心のケア・経験談など、地域連携室の方々にも助けて頂きながら、竹富町、石垣の乳がん患者、サバイバーが一人でも前を向けたり、辛くても話せる・寄り添える仕組みを少しずつ整えていきたいです。

アピアランスケア宮古島市勉強会・相談会

開催報告

実施日：令和6年3月1日（金）、3月2日（土）

主催：琉球大学病院がんセンター/共催：宮古病院

【名称】

令和5年度 アピアランスケア宮古島市勉強会・相談会

【目的】

アピアランスケア勉強会

・当院が採択を受けた令和5年度アピアランス支援モデル事業において、沖縄県の離島のがん診療に関わる医療従事者のアピアランスケアに対する知識、意欲向上を図る。

アピアランスケア相談会

・がん患者とそのご家族を対象に、ウィッグの試着や、個別的に相談会を行い、がん治療における外見ケアに対する悩みや、がん治療中における疑問等について個別相談を行う。

1.名 称 令和5年度 アピアランスケア宮古島市勉強会・相談会

2.日 時 アピアランスケア勉強会 令和6年3月1日（金）17：00～18：30

アピアランスケア相談会 令和6年3月2日（土）10：00～12：00

3.対 象 宮古島市のがん診療に関わる全ての医療従事者、がん患者さんとそのご家族、アピアランスケアに関心がある方・知識を深めたい方

4.場所 アピアランスケア勉強会 宮古病院 講堂3階

アピアランスケア相談会 働く女性の家 ゆいみなあ

5.主 催 琉球大学病院がんセンター（共催 八重山病院）

6.プログラム

アピアランスケア勉強会

<講 義>

「がん治療に伴う外見変化への悩みに寄り添うケア（アピアランスケア）の基礎知識」

琉球大学病院　がん看護専門看護師　砂川　華

<デモンストレーション>

「明日からできる！アピアランスケアの実践」

琉球大学病院　がん看護専門看護師　砂川　華

沖縄県立宮古病院　慶田　博子 氏

アピアランスケア相談会

<講 義>

「治療中でも自分らしく過ごすための外見ケア」

琉球大学病院　がん看護専門看護師　砂川　華

<ウィッグ試着・個別相談会>

【スタッフ】

名前	所属	担当
増田 昌人	がんセンター長	責任者
砂川 華	がん看護専門看護師	講師
比嘉 優花	がんセンター	スタッフ
大嶺 真希	がんセンター	担当者

【タイムスケジュール】

開始	終了	時間	内 容	講師・担当者
17:00	17:05	5分	開会のあいさつ	宮古病院 院長
17:05	17:10	5分	趣旨説明	琉球大学病院 がんセンター長 増田 昌人
17:10	17:40	30分	がん治療に伴う外見変化への悩みに寄り添うケア（アピアランスケア）の基礎知識	琉球大学病院 がん看護専門看護師 砂川 華
17:40	17:45	5分	休憩	
17:45	18:15	30分	明日からできる！アピアランスケアの実践	琉球大学病院 がん看護専門看護師 砂川 華 沖縄県立宮古病院 慶田 博子 氏
18:15	18:25	10分	質疑応答・全体振り返り	
18:25	18:30	5分	アンケート記入	参加者各自
18:30	18:30		閉会のあいさつ	琉球大学病院 がんセンター長 増田 昌人
18:30			閉会	

【参加者数】

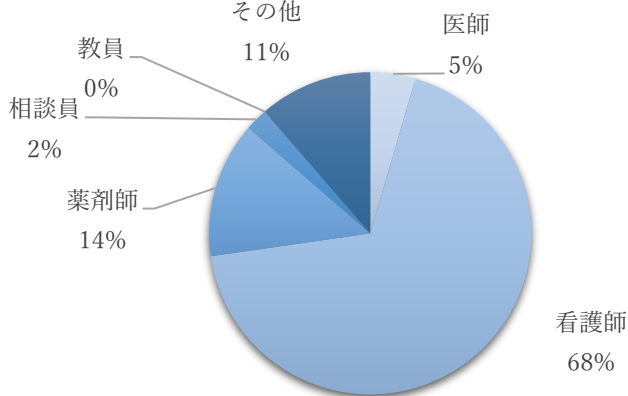
アピアランスケア勉強会：68 名（うちオンライン参加者 31 名） アピアランスケア相談会：16 名

【振り返り】

- ・1 日目の勉強会是要申込とし、申込方法は、QR コードと FAX、メールにて申込を行った。途中から、先方の意向にて、ハイブリッド開催（勉強会のみ）へ変更となり、配布チラシにオンライン配信の案内を追記した。アンケートは、現地参加者は紙面記入、オンライン参加者は QR コードにて Google フォームより、アンケートにご協力いただいた。
- ・勉強会の第 2 部デモンストレーションは、宮古病院のスタッフ 1 名（慶田さん）に女性の患者役としてご協力いただいた。
- ・2 日目の相談会は、1 日目と会場が異なり、院外の別会場（働く女性の家ゆいみなあ）で行われた。新聞広報も行い、開催日前日に掲載された。がん患者として参加することに、人目を気にして抵抗があるなど、離島の地域性を考慮し、当日参加可能、申込不要とした。実際に、相談会のアンケートにて、全体の会の中に設定されているので、相談しにくかったと感想あり。
- ・宮古病院以外の行政機関など島内 6 施設（多良間村を含む）には、文章案内にて広報を行った。
- ・勉強会には、がん拠点病院の宮古病院だけでなく、患者会など、職種は医師や看護師、薬剤師、相談員など、多職種に参加いただいた。
- ・勉強会は 68 名（うちオンライン 31 名）、相談会は 16 名の参加があった。
- ・相談会は講義形式で行われた。席の後方に、パンフレットやウィッグを設置した。鏡付きのパーテーションがあり、気軽にウィッグを試着できるようにしていた。
- ・事前に、ウィッグやマネキンとともに、配布資料など荷物を宅配にてお送りした。

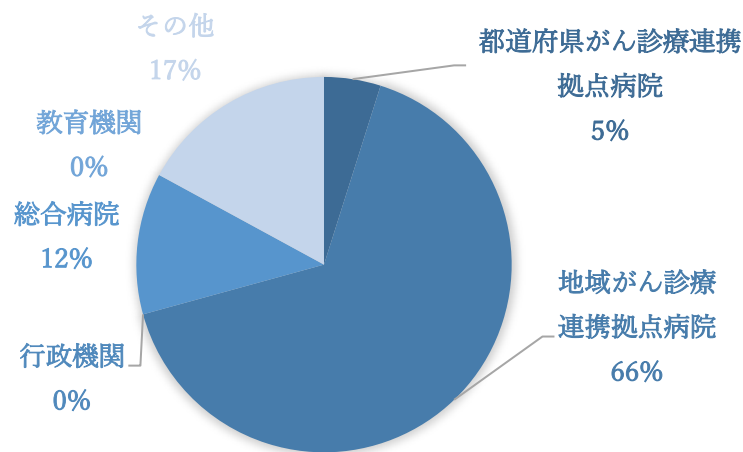
令和 6 年 3 月 1 日（金） アピアランスケア宮古島市勉強会アンケート結果（44 名分）

Q 1.あなたのご職業を教えてください。



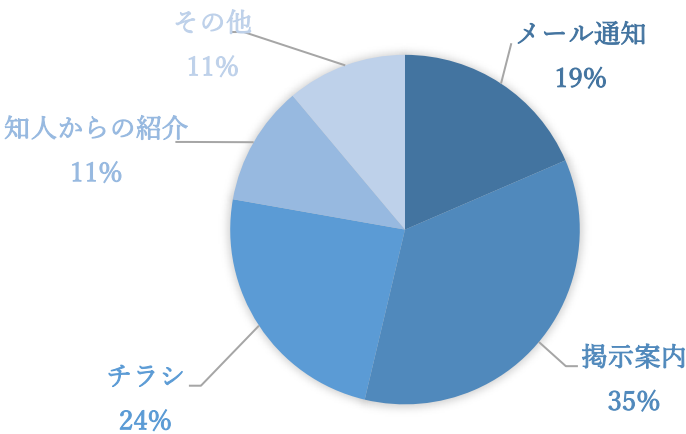
Q 1 その他
・ 社会福祉士 ・ 主婦

Q2.あなたの所属する施設を教えてください。



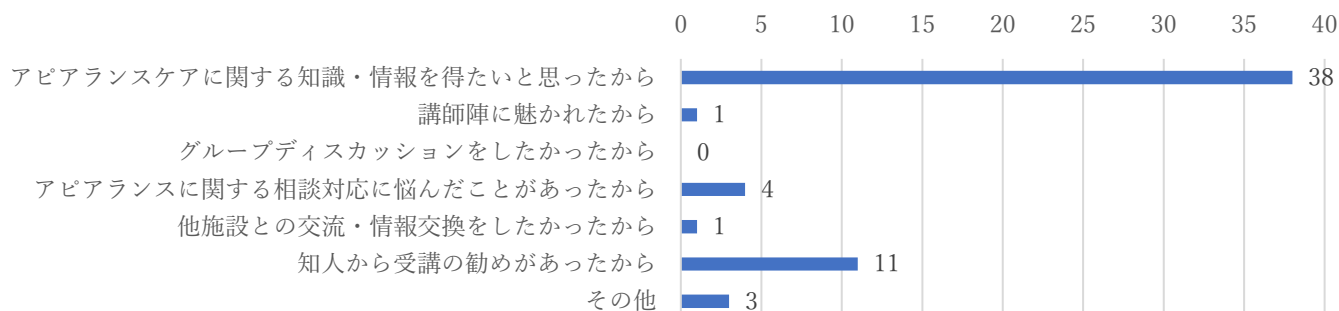
Q2 その他
・ 地域包括支援センター
・ 患者会
・ 民間病院
・ 沖縄県オストメイト協会宮古地区
・ 乳がん治療中の主婦

Q3.今回の研修は、何で情報を知りましたか
（複数回答可）



Q3 その他
・ 同僚からのお知らせ
・ 職場メール
・ まんま宮古 患者会

Q4.あなたが今回の研修に参加しようと思った動機を教えてください。（複数選択可）

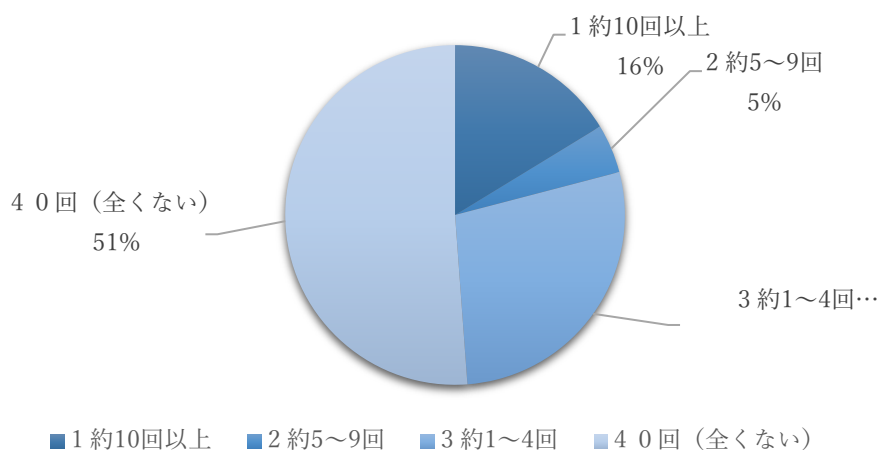


Q4 その他

・身内がガンになり、抗がん剤後、脱毛になってヴィック等必要になったこと、本人も落ち込んで社会的にも孤立ぎみになった事がキッカケです。

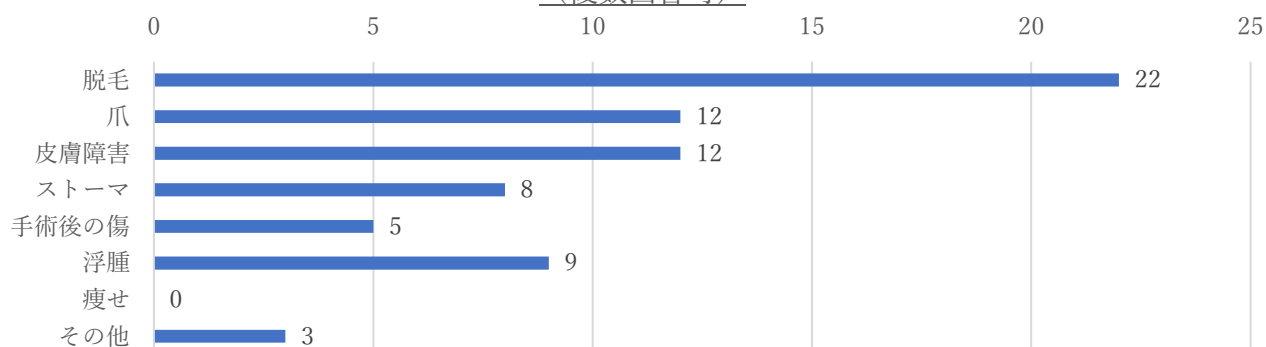
・琉大で 1 回目の抗がん剤治療後に入院した患者さんが入院中に脱毛の症状が出た際に、不安を表出してくれた患者さんへ返す言葉が見つからなくて、どう関わって支えてあげたらいいのかわからなくて、申し訳ない気持ちになったので、今回アピアランスケアとは何かを勉強したくて参加しました。

Q5. (1) あなたはこれまでにアピアランスに関する相談を計何回ほど受けたことがありますか。



Q5. (2) アピランスに関する相談を受けた方へお尋ねします。あなたが受けたことがある相談内容にあてはまるものすべてに☑してください。

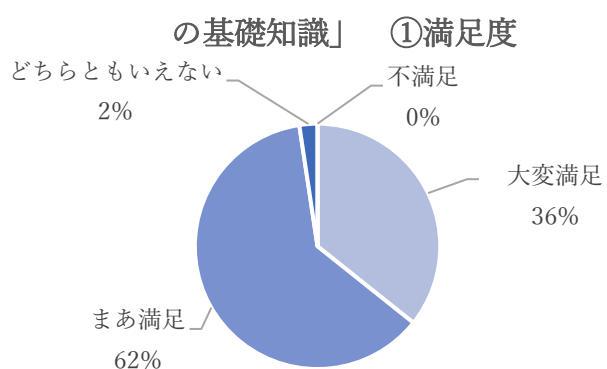
(複数回答可)



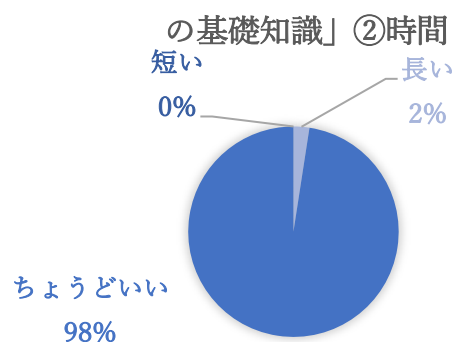
Q5 (2) その他

・副作用による日常生活の変化、仕事 ・手足のしびれ ・乳がん術後 ・仕事に対して

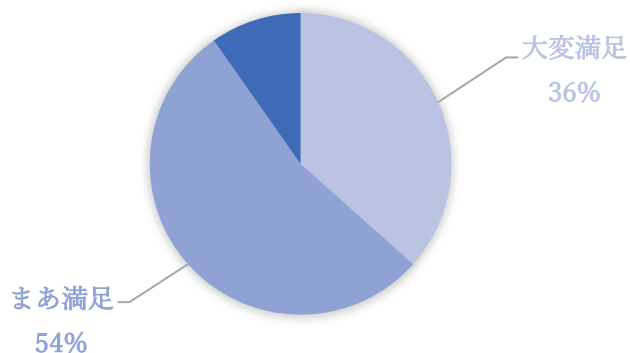
(1) 「がん治療に伴う外見変化への悩みに寄り添うケア（アピランスケア）の基礎知識」 ①満足度



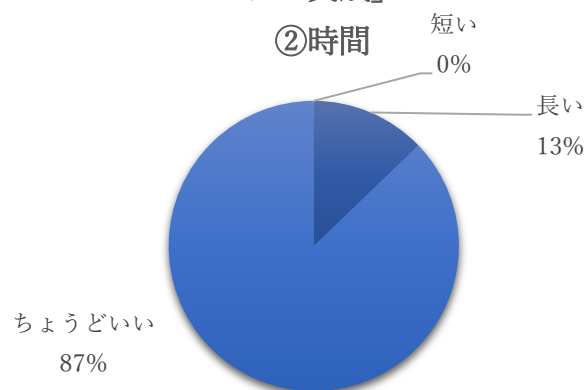
(1) 「がん治療に伴う外見変化への悩みに寄り添うケア（アピランスケア）の基礎知識」 ②時間



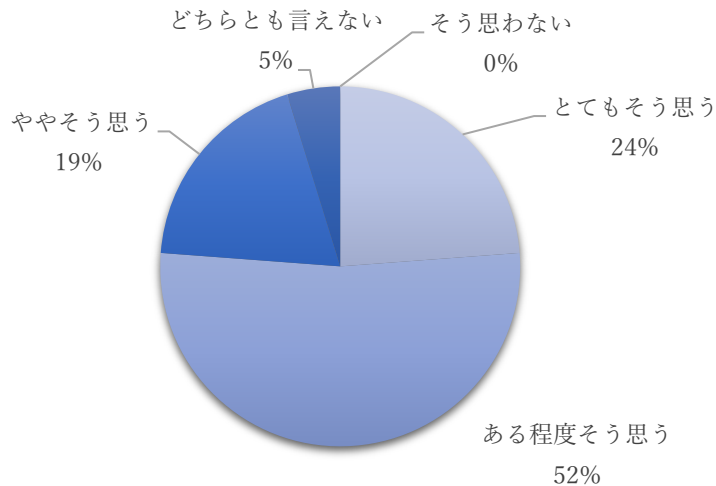
(2) 「明日からできる！アピランスケアの実践」 ①満足度



(2) 「明日からできる！アピランスケアの実践」 ②時間



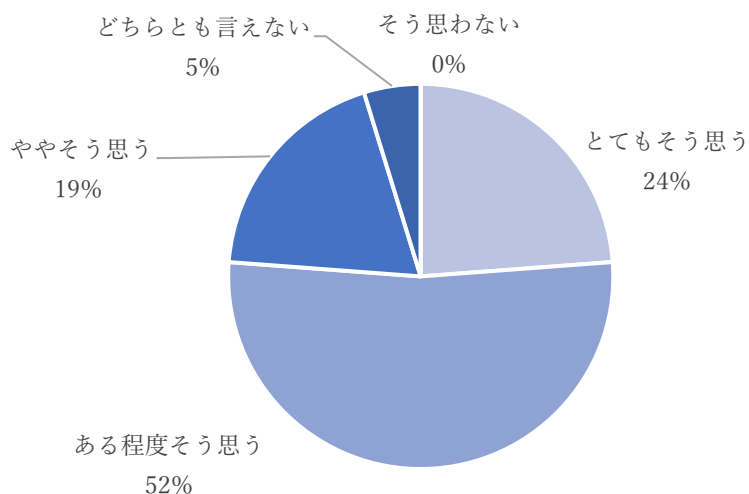
Q8. (1) 今後もアピアランスケアに関する勉強会があれば参加したいと思いますか



Q7.あなたの所属している自施設（自部署）ではどのようなアピアランスに関する相談対応を行っていますか *知っている限りで良いのでご記入ください。

- ・パンフレット配布
- ・認定ナースの方と連携する
- ・相談員への連携がされている。相談室の設置。パンフレットなどを複数提供できるようになっている。
- ・チラシを用いて相談対応してます
- ・アピアランスまで実践できていない
- ・現在の施設はあまりわかりません。前の施設では、がんハンドブックの配布と説明。緩和センターで、外来でウィッグや化粧品、食事（栄養）などを指導したりしてました。
- ・がん相談員が窓口となって対応している
- ・がん相談員が相談を受けている
- ・がん相談支援室にて担当ナースなどがいろいろと対応してくれるイメージ
- ・すみません、がん相談室で対応していると思うのですが、具体的には把握しておりません。
- ・冊子、パンフレットを用いて相談しながら情報提供。がん相談支援センターや、外来化学療法室で対応
- ・ウィッグ業者のパンフレットの紹介。相談員が対応してくれている
- ・がん専門相談員が対応してくれる。名刺を手渡したり（相談員につながる電話番号が記載されている）相談員を紹介し、対面してもらっておく
- ・患者会で手作りウィッグ作成し宮古病院へ（まんま宮古患者会）
- ・パンフレットでウィッグの説明をしている
- ・パンフレットでウィッグの紹介。相談できる場所の案内（チラシ）

8. 今後もアピアランスケアに関する勉強会 があれば参加したいと思いますか



Q9. 企画・開催を希望する研修のテーマや内容についてご意見がありましたら下記へご記入ください。

- ・ 外見の悩みだけではなく、放射線科治療の心理・社会的の枠でのケア研修の開催も希望します。
- ・ 脳の腫瘍など
- ・ 事例を通した研修など、アピアランスケアで困った事例など
- ・ 相談を受けた時のための対応の勉強になるので。
- ・ 今までなんとなくやっていた事です、きちんと学び対応できるようになりたいと感じました。

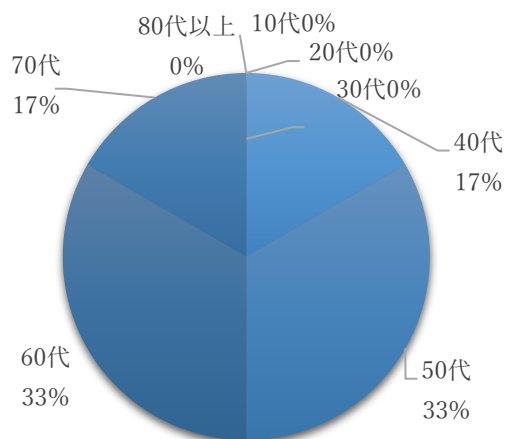
Q10. その他、本日の勉強会に関する感想やご意見などがありましたら自由にご記入ください。

- ・ わかりやすい講義の内容と資料でとてもわかりやすかったです。次回から患者さんとの関わる際に今回の勉強会で教えていただいたことを実践できるよう頑張ります。今後も引き続き勉強していきたいと思います。お忙しい中、ありがとうございました。
- ・ それぞれの病気に対する向き合い方、時に隠されている本心など、自分自身の考え方を一旦手放さないと知ることができないことが多く、とても難しいことだと思いました。が、やはり基本の傾聴から関係を築いていくことが大切だなと思いました。ありがとうございました。
- ・ とてもわかりやすく説明していただきありがとうございました。友人が脱毛で苦しんでいる際、何もアドバイスができなかったのを思い出し、これから相談を受ける機会があれば、このような説明・アドバイスをしていきたいと思います。
- ・ アピアランスケアという言葉を知りました。ケアに対する知識をしっかりと持ち、悩んでいる患者さんへの声がけができるようになりたいなあと感じました。

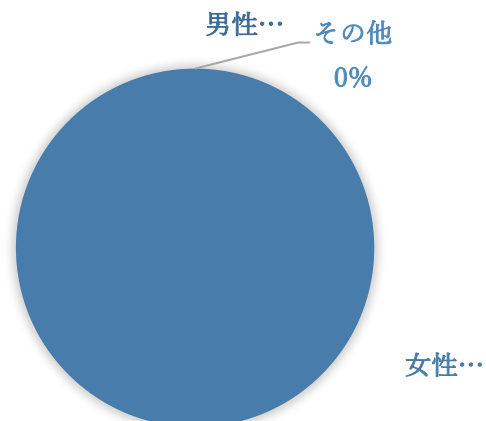
- ・お疲れ様でした。ご講演ありがとうございました。
- ・患者会をまきこんで、勉強会をしたらどうでしょうか。
- ・検索ワードについてまでは、案内していなかったので、相談時に活用したいと思います。ありがとうございました。アピアランスセンターのeラーニングは受けてみたいと思います。
- ・寸劇もあり、患者さんへの対応の仕方を具体的に知ることができて良かったです。
- ・発表としての流れはわかりやすかったが、事例が少ないのが…。治療を終えた方の声も聞いてみたい。病院側からの意見も。一方通行ではいけないのではないか。
- ・宮古病院ではどのような体制で、患者さんへ対応できるのか考えていきたい。
- ・病気や外見の変化を重視しがちだったけど、患者さん自身（背景など）に目を向けることの大切さを学びました。
- ・がん治療に伴うボディイメージの変容ないし、それに対する不安へのケアを学ぶことができ貴重な時間だったと思います。ありがとうございました。
- ・リモート研修会に参加させて頂き、ありがとうございました。

令和6年3月2日（土） アピアランスケア宮古島市相談会アンケート結果（12名分）

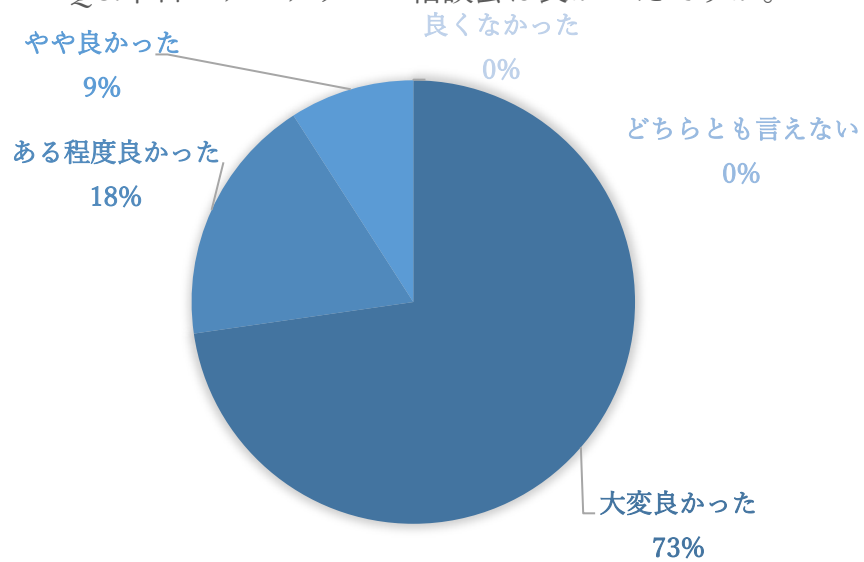
Q1.あなたの年代を教えてください。



Q2.あなたの性別教えてください。

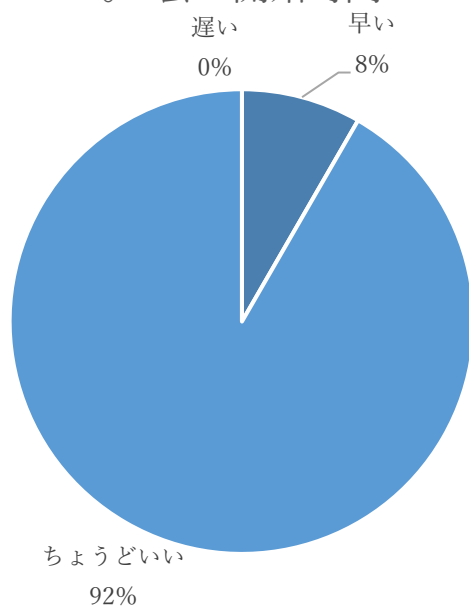


Q3.本日のアピアランス相談会は良かったですか。



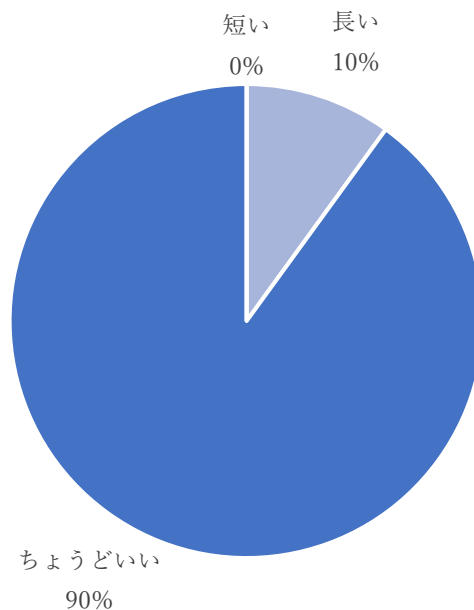
Q4.相談会の時間設定はいかがでしたか。

会の開始時間：

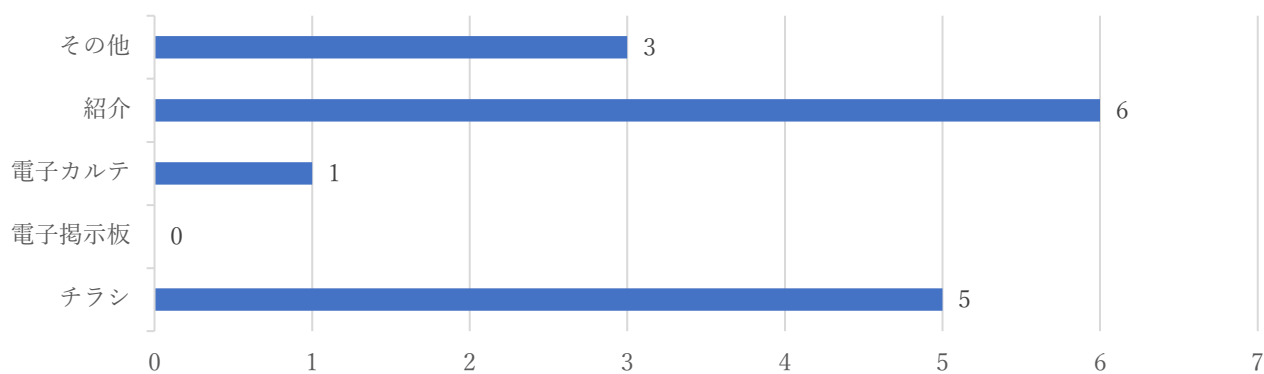


Q4.相談会の時間設定はいかがでしたか。

会の開催時間：



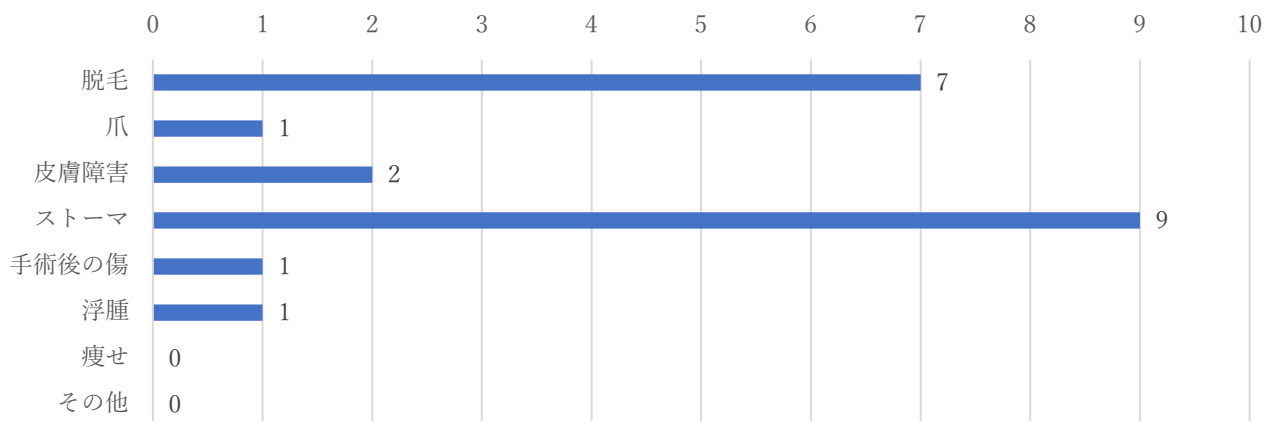
Q5.本日の相談会は、何をきっかけに知りましたか。（複数回答可）



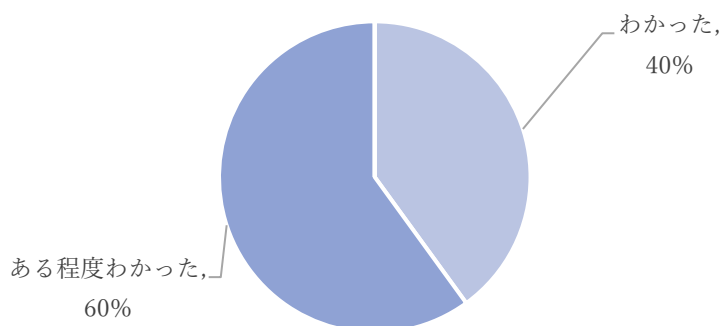
その他

- ・ 琉大病院からの案内
- ・ 宮古島市のライン
- ・ 新聞

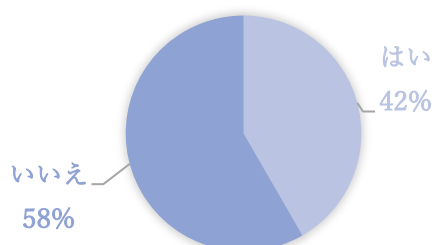
Q6.本日の相談会に参加しようと思った動機を教えてください。 (複数回答可)



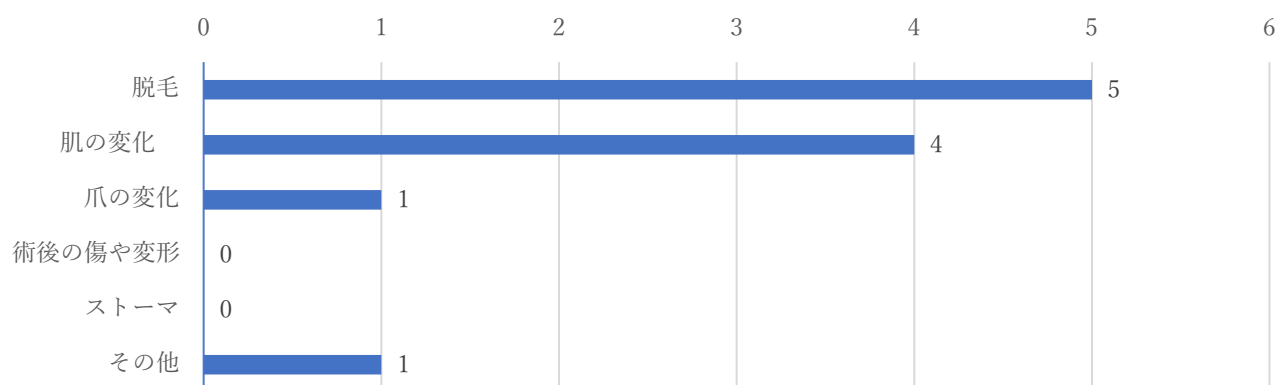
Q7. 「アピアランスケア」について
理解できましたか。



Q8. あなたはこれまでに、治療に伴う
外見変化（アピアランス）に関する悩みを抱え
ていたことがありますか。

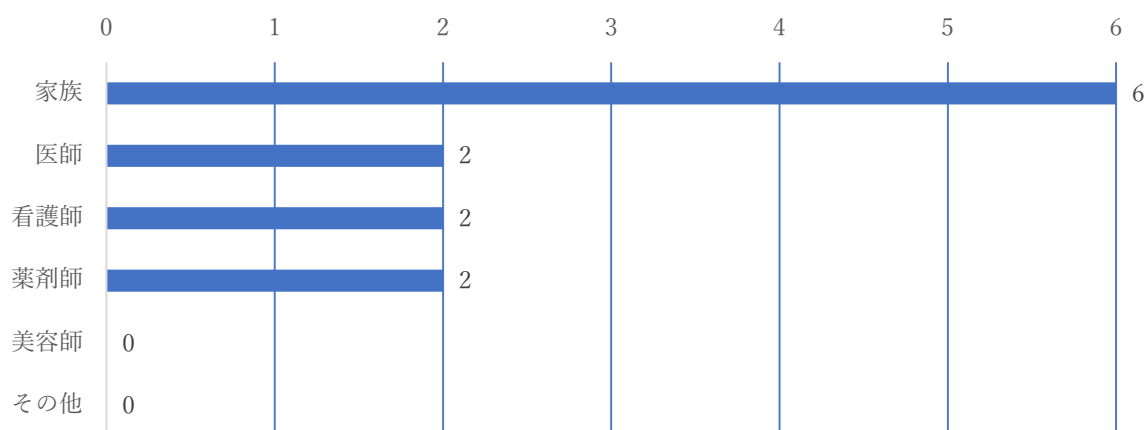


「はい」の方は、具体的な悩みもあわせてお答えください。（複数回答可）

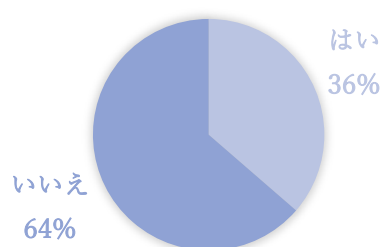


その他 まつげ

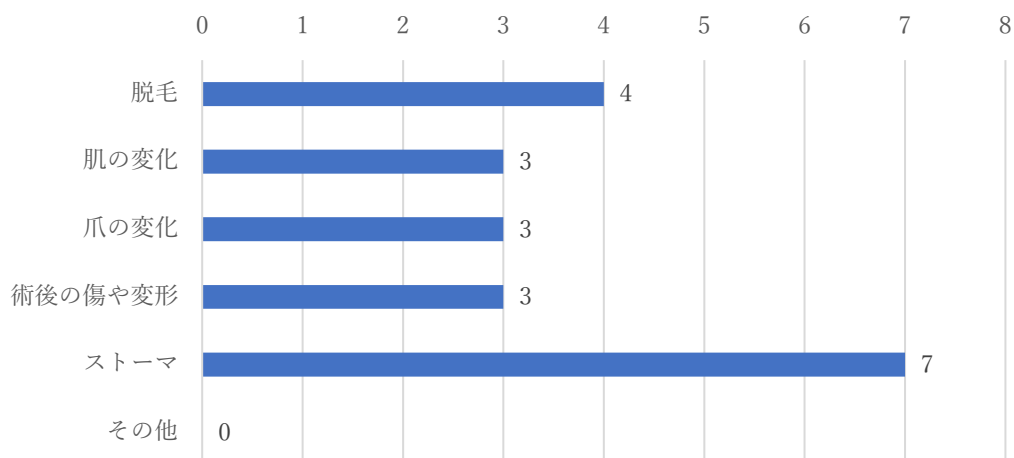
「はい」の方は、だれに症状を相談しましたか。（複数回答可）



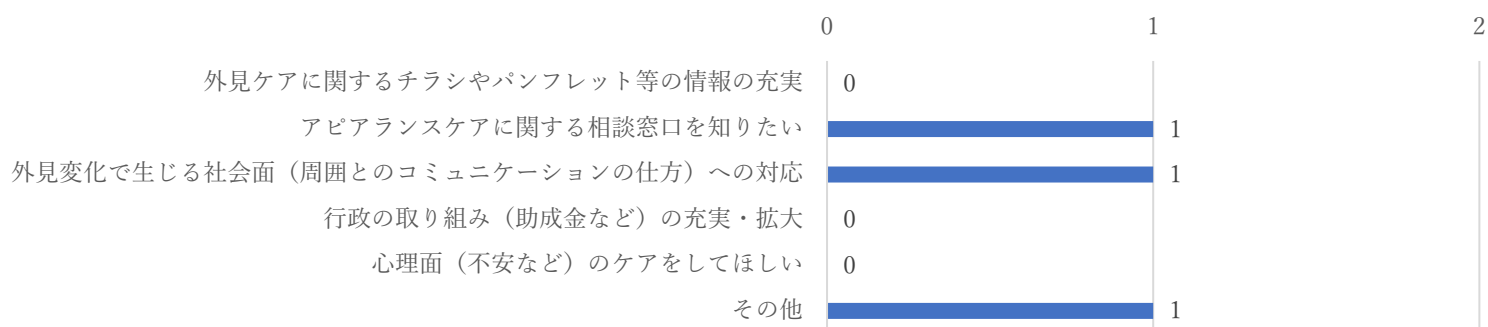
Q9. 治療中の外見変化（アピアランス）に関する悩みに対し、周囲に相談したことはありましたか。



「はい」の方は、具体的にどのような症状を相談しましたか。（複数回答可）



Q10.病院内でのアピアランスケアの相談対応で、今後取り組んで欲しいことがあれば教えてください。（複数回答可）



Q10.その他 ・売店の充実

Q11.本日の相談会に関するご感想や、ご要望など何かあれば自由に記入してください。

- ・つけまつげは大変だった、アイラインがよかったなど体験を通したアドバイス。安くて代用していいものがある等ためになった。
- ・病院職員です。今回は患者さんの声が聴けてこれから宮古病院がどうすべきか考えることができました。また、アピアランスケアのその奥の心理的ケアにも着目する必要があると感じました。お疲れ様でした。
- ・私の知らない事も少し分かる様になりました。ありがとうございました。
- ・いろいろな方の体験や思い、活動などを知り、沢山の方々がひとりで悩まずに治療を受けて欲しいと思いました。ありがとうございました。
- ・離島まで来ていただき相談会はとても貴重です。ありがとうございます。アピアランスケアに限らず、療養中の気になることを主治医・専門ナース以外、（治療で通うため、時間が限られるため）から、情報を収集する機会になる。
- ・個別相談会を全体の会の中に設定されているので、相談しにくかった。宮古病院の取り組みも聞けてよかったと思います。治療中、脱毛したときの美容室の利用についてもどのようにしているのか聞きたかったです。
- ・琉大の緩和ケアやアピアランスケアのネット上の窓口があれば、教えて欲しいです。
- ・説明の仕方がとてもわかりやすかったです。



令和5年度 アピアランス支援モデル事業 最終報告会

琉球大学病院

責任者：増田昌人（がんセンター センター長）

実務者：砂川華（看護部 がん看護専門看護師）

中村翼（看護部 緩和ケア認定看護師）

調整者：大嶺真希（がんセンター 事務補佐員）

喜瀬杏妃（沖縄県地域統括相談支援センター）

発表内容

I 実際に行った事業内容とその結果

- 1.医療従事者対象 ①院内 ②院外
- 2.患者(一般市民向け)①院内 ②院外

II 今後、他院でアピアランスケアを導入・展開する際のポイント

1. チーム作り
2. 院内教育研修
3. 患者さんへの情報提供やケア提供方法
4. 資材の製作や管理
5. 関連業種や都道府県との連携

III 次年度以降への活動計画

発表内容

I 実際に行った事業内容とその結果

1. 医療従事者対象 ①院内 ②院外
2. 患者(一般市民向け)①院内 ②院外

II 今後、他院でアピアランスケアを導入・展開する際のポイント

1. チーム作り
2. 院内教育研修
3. 患者さんへの情報提供やケア提供方法
4. 資材の製作や管理
5. 関連業種や都道府県との連携

III 次年度以降への活動計画

I 実際に行った事業内容 1.医療従事者対象 ①院内②院外

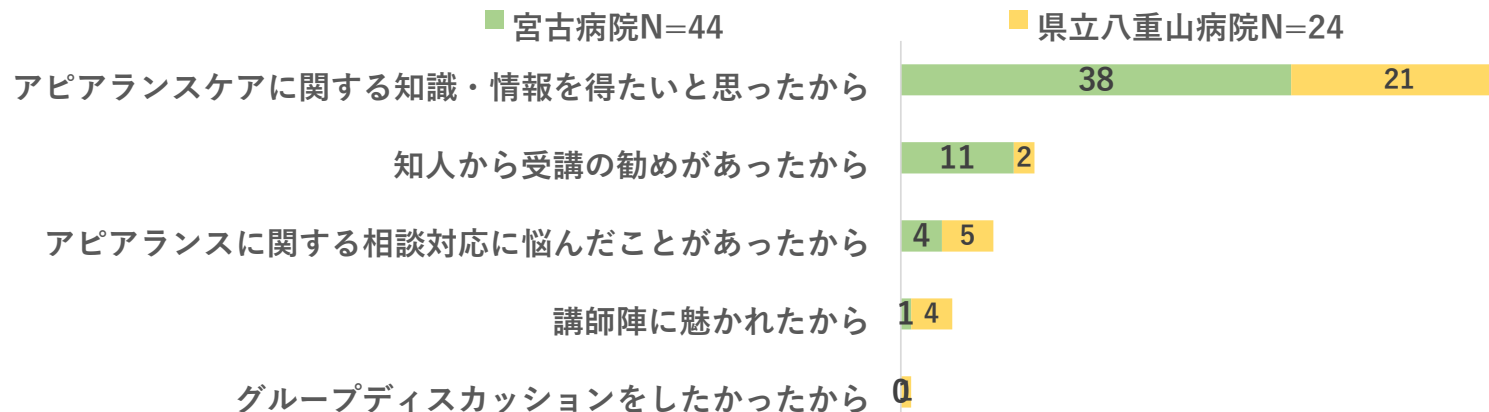
開催事業	1. 院内研修会		2. 情報交換会	3. 県全体勉強会	4. 離島勉強会	
開催場所	オンライン		琉球大学看護部会議室	琉球大学 シミュレーションセンター	県立八重山病院	県立宮古病院
開催日時	R5.10/1 ～10/31	R5.11/14 17:30～18:30	R6.1/12 17:30～18:30	R5.12/17 13:00～17:00	R6.1/26 17:30～19:30	R6.3/1 17:30～19:30
開催形式	WEB E-ラーニン グ	オンライン+オンデマンド配 信	対面+ハイブリッド配信	対面	対面	対面+ハイブリッド開催
受講人数 職種	43名 医師(5)Step1の み受講者5名)、 看護師(28)、 薬剤師(3)、 MSW(2)	18名 医師、薬剤師、看護師、MSW	52名 院内(12)、院外(40) 医師、薬剤師、看護師、心理 士、ケアマネージャー	42名 医師、薬剤師、看護師、 MSW その他; 行政担当者、大学教員、 ピアサポーター、患者会 5病院、3大学、1団体、2 自治体	37名 医師、看護師、薬剤師、 その他 3病院、1団体	68名(対面 37,WEB31) 医師(2)、看護師(30) 薬剤師(6)、相談員(1) その他(5) 2病院
講師	国立がんセンター アピアランスケアセ ンター	・実務者1名 ・沖縄県地域統括相談支援セ ンターピア・サポーター	・実務者1名	・外部講師2名招聘 (アピアランスケア研究者、 びあサポーター)	・実務者2名	・実務者1名
内容	国立がんセンター アピアランスケアセ ンター配信	講演 ・「患者が求めるアピアランス ケア」20分 ・「新しいアピアランスケアの 考え方」30分	講演・デモンストレーション ・基礎知識(30分) ・明日から使えるアピアラン スケア実践方法(30分)	【講演・グループディス カッション】 ・「臨床で活かすアピアラ ンスケア」(90分) ・「患者が求めるアピアラ ンスケアとは?」(20分) ・症例を通したグループ ディスカッション(60分)	【講演・デモンストレーション】 ・「アピアランスケアの基礎知識」(30分) ・「明日から使えるアピアランスケア実践方法」(30分)	

2024/3/19

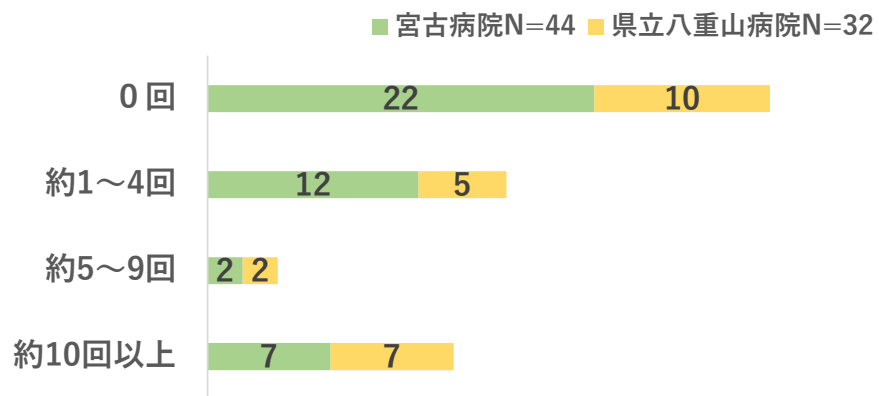
アピアランス支援モデル事業 最終報告会 琉球大学病院

1.医療従事者対象からの評価

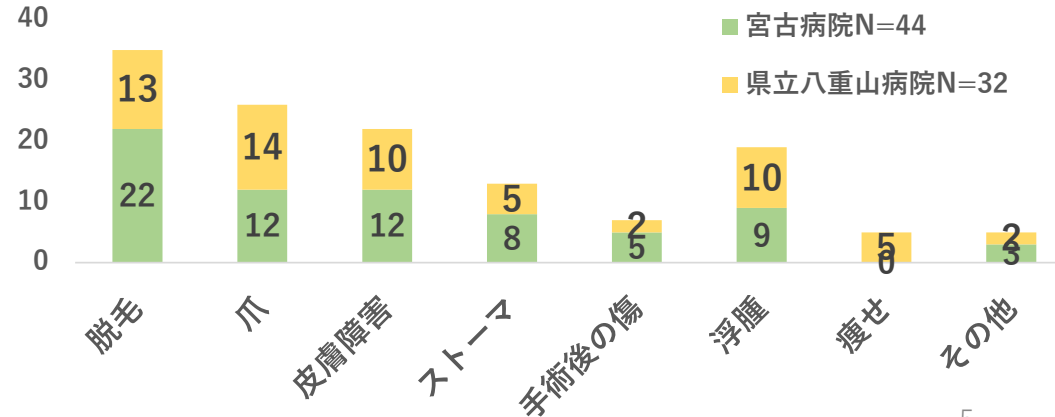
研修への参加動機（複数選択可）



アピアランスに関する相談を受けた回数



アピアランス相談内容（複数回答可）



1.医療従事者対象からの評価

【医療者向け勉強会開催後のアンケート結果より】

知識/ 技術 面

- ・高価なウィッグ以外にも様々な対応方法があることを知った。
- ・デモンストレーションは声かけ方法がイメージしやすくわかりやすい。
- ・実例があることで、理解しやすく即活用できる技術を知ることができた。
- ・症例の段階に応じて説明がわかりやすかった。
- ・アピアランスケアの3側面を理解することができ、患者が外見上の変化を受容し健やかに過ごしていけるように心理的サポートがとても大切だと感じた。

認識 面

- ・情報は正しく伝えることが大切だとわかった。
- ・アピアランスケアの介入は「いつ」が適切か？
- ・見た目だけではなく、がんの恐怖の部分(心の中の声)に寄り添えるようにしたい。
- ・ボディイメージの変容だけではなく、心理的・社会的側面も含めて教えていきたい。
- ・アピアランス＝外見という表面だけの対応ではなく、一歩踏み込んで内面・感情(どうしてそれが気になるか)に対して、共感し寄り添うことが大切である。

I 実際に行った事業内容 2. 患者(一般市民)対象－①院内 ②院外

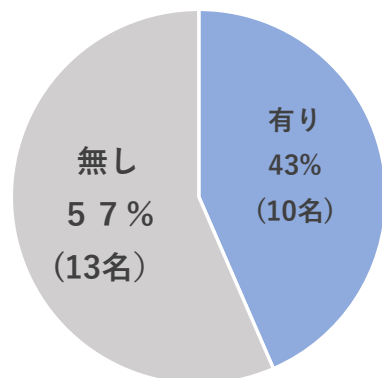
開催事業	1.アピアランスケア相談会	2. 患者サロン	3.離島アピアランス教室・相談会
開催日時/場所	①R5.6月(琉大) ②R5.10月(琉大) ③R5.12/21(琉大) ④R6.3/8(琉大) 15:00～16:30	①R5. 11/21(琉大) ②R5.12/7(琉大) ③R6.1/18(那覇市立病院) ④R6.1/25(県立中部病院) ⑤R6.2/20(琉大) 14:00～16:00	①R6. 1/27(県立八重山病院) ②R6.3/2(県立宮古病院) 10:00～12:00
開催方法	全て対面	②、③、④対面 ①、⑤オンライン	対面
対象者	外来・入院患者 及びその家族	外来・入院患者 及びその家族	がん患者及びその家族 一般市民
参加人数	①3名(男性1,女性2) ②3名(女性3) ③8名(女性3)*小児1含む ④3名(女性3)	①3名(男性2,女性1) ②7名(男性2,女性5) ③4名(男性1,女性3) ④10名(男性3,女性7) ⑤2名(男性2)	①11名 ②12名
講師	・がん相談支援センター相談員2名 ・実務者1名	実務者2名	実務者2名
内容	ウィッグ試着会・個別相談会	・アピアランスケアについての講演(30分) ・保湿ケア実演 ・絵本読み聞かせ「ママのバレッタ」 「ママはかいぞく」	・アピアランスケアについての講演 ・保湿ケアの実演 ・相談・ウィッグ試着会 ・絵本読み聞かせ「ママのバレッタ」 「ママは海賊」

2024/3/19

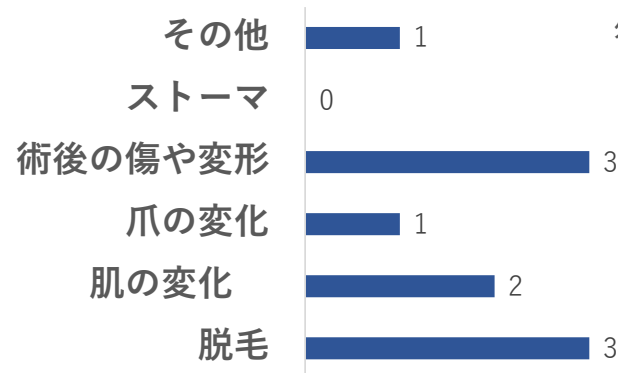
アピアランス支援モデル事業 最終報告会 琉球大学病院

2.患者(一般市民)対象からの評価

治療に伴う外見変化に関する悩み 外見変化に関する悩みの種類
抱えた経験の有無 N=23

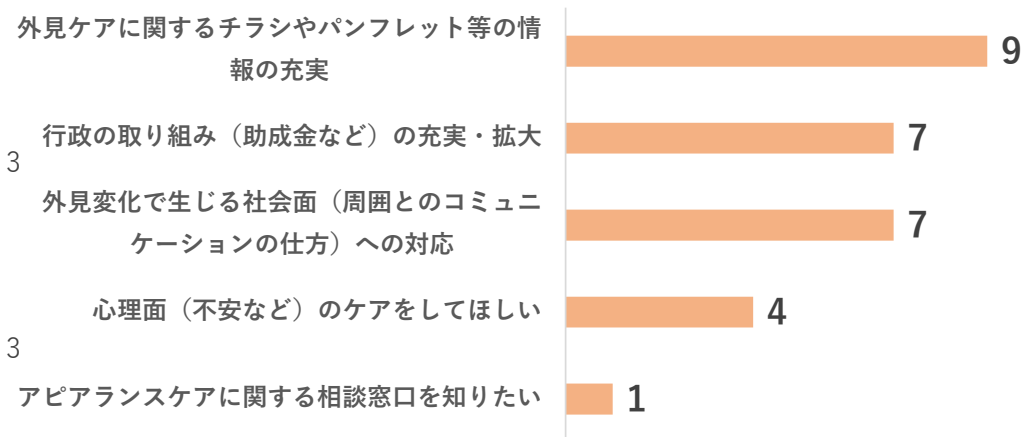


N=10 (複数回答)

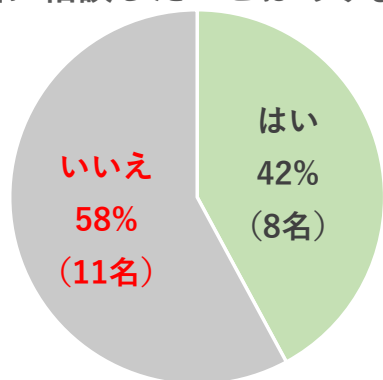


アピアランスケアで取り組んで欲しいこと

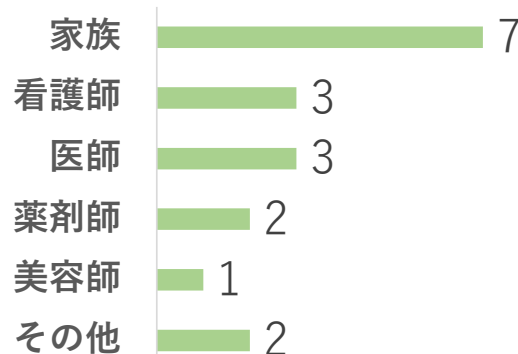
N=22(複数回答)



治療中の外見変化に関する悩みに対し
周囲に相談したことはありますか？

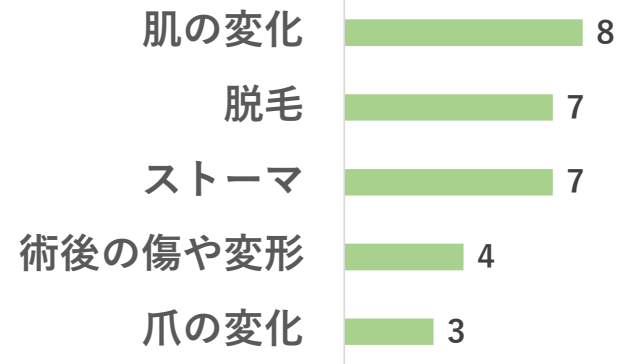


外見変化に関する相談先
N=8 (複数回答)



相談内容

N=8 (複数回答)



2024/3/19

アピアランス支援モデル事業 最終報告会 琉球大学病院

8

2.患者(一般市民)対象からの評価

【患者相談会開催後のアンケート結果からの意見】

知識面	・つけまづけは大変だった等、 実際の体験を通したアドバイス が良かった。
	・高額なイメージから 安くて代用していいものがある と知った。
認識面	・自分とは違う悩みがあることがわかった。
	・自分の知らなかったことが少しわかる様になった。
	・いろいろな方の体験や思いを知り、 ひとりで悩まないでほしい 。
	・情報や店が少なく、 外出する機会や人に会うことを避ける人も いる。
	・このような会をもっと多く設けて市民の人に共有し、 気軽に安心して相談できる場所 の設置をしてほしい。
その他	・ 個別相談会を全体の会の中に設定されているため、相談しにくかった 。
	・事前告知を新聞等の活用をしてほしい。・広報の仕方を工夫してほしい。
	・アピアランスケアに限らず、療養中の気になることを情報収集する機会になった。
	・離島僻地は、年1回程度の開催があると良い。
	・今後、 離島でもコミュニティを作ろう と計画していきたい。

発表内容

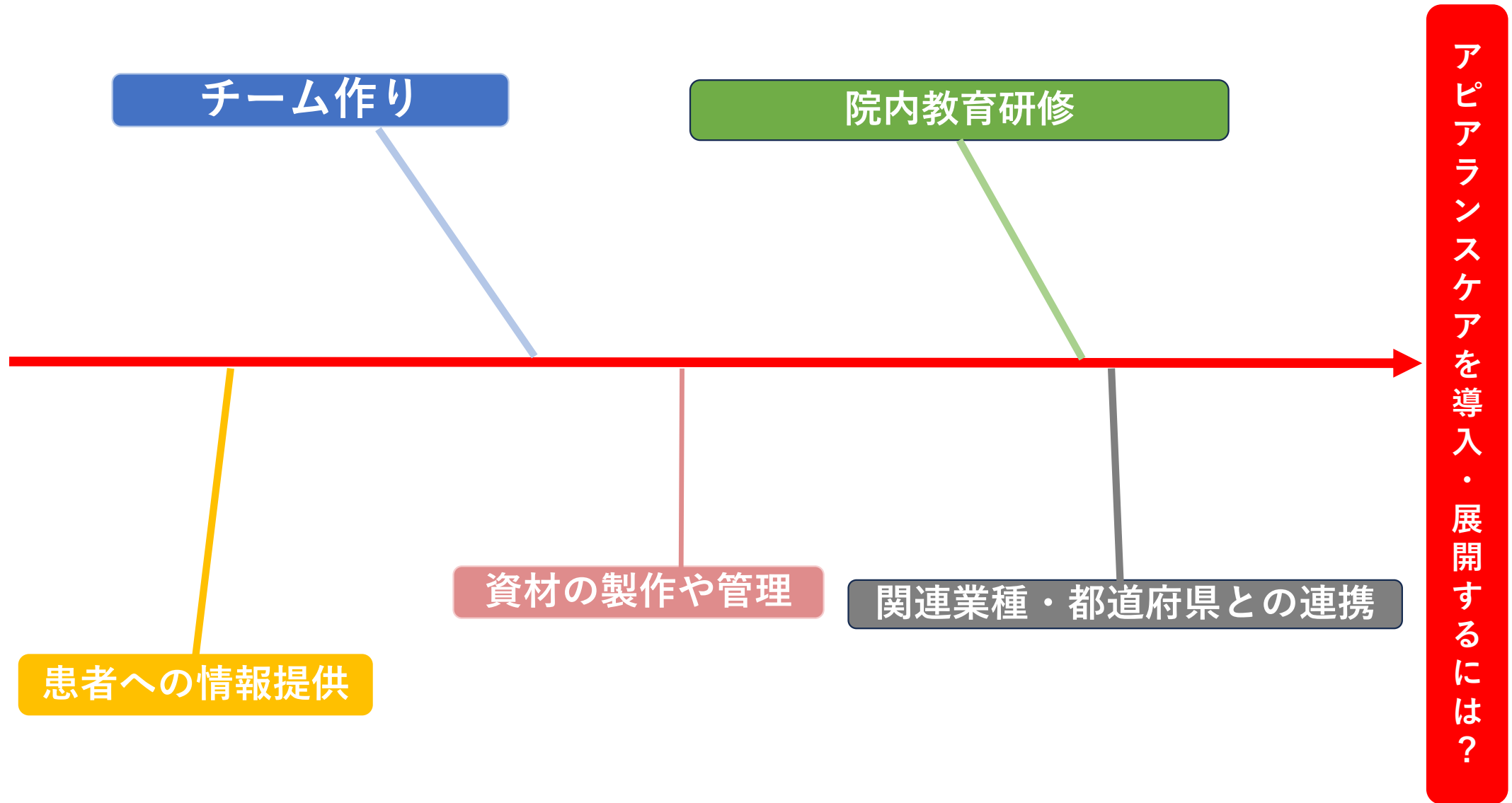
I 実際に行った事業内容とその結果

- 1.医療従事者対象 ①院内 ②院外
- 2.患者(一般市民向け)①院内 ②院外

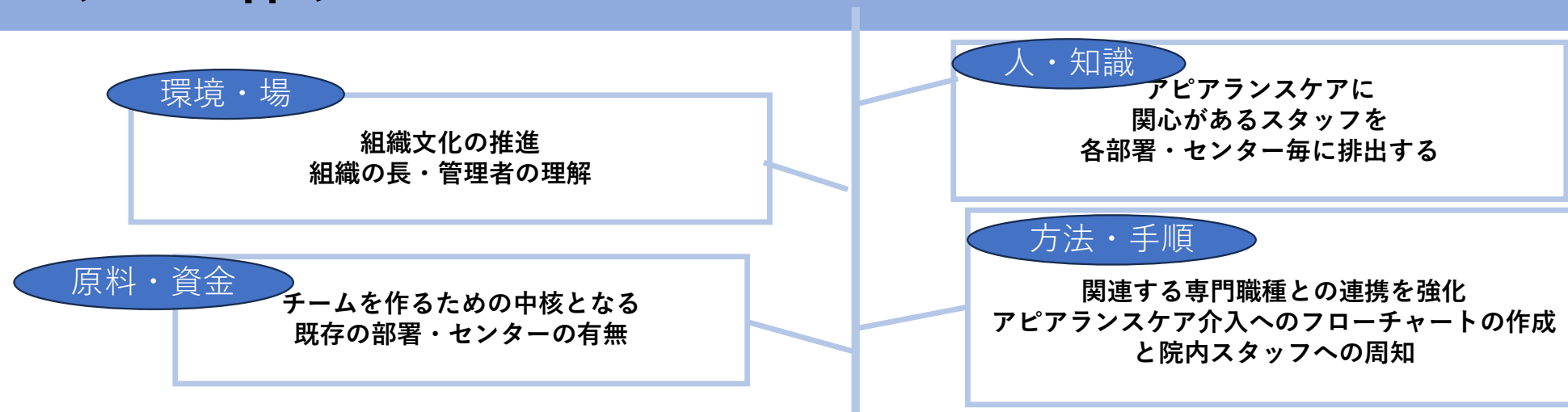
II 今後、他院でアピアランスケアを導入・展開する際のポイント

1. チーム作り
2. 院内教育研修
3. 患者さんへの情報提供やケア提供方法
4. 資材の製作や管理
5. 関連業種や都道府県との連携

III 次年度以降への活動計画

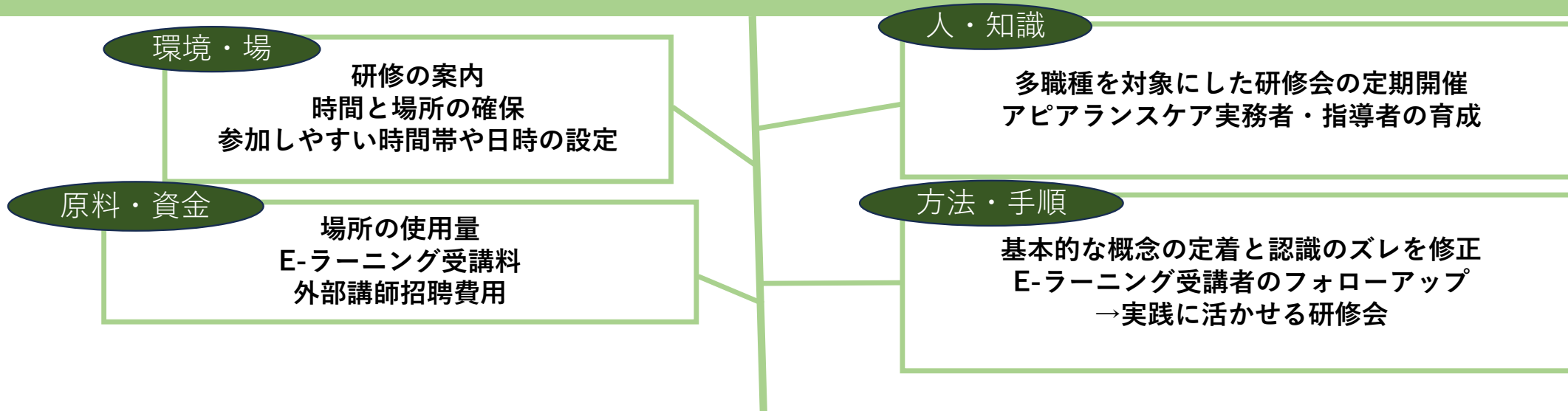


1. チーム作り



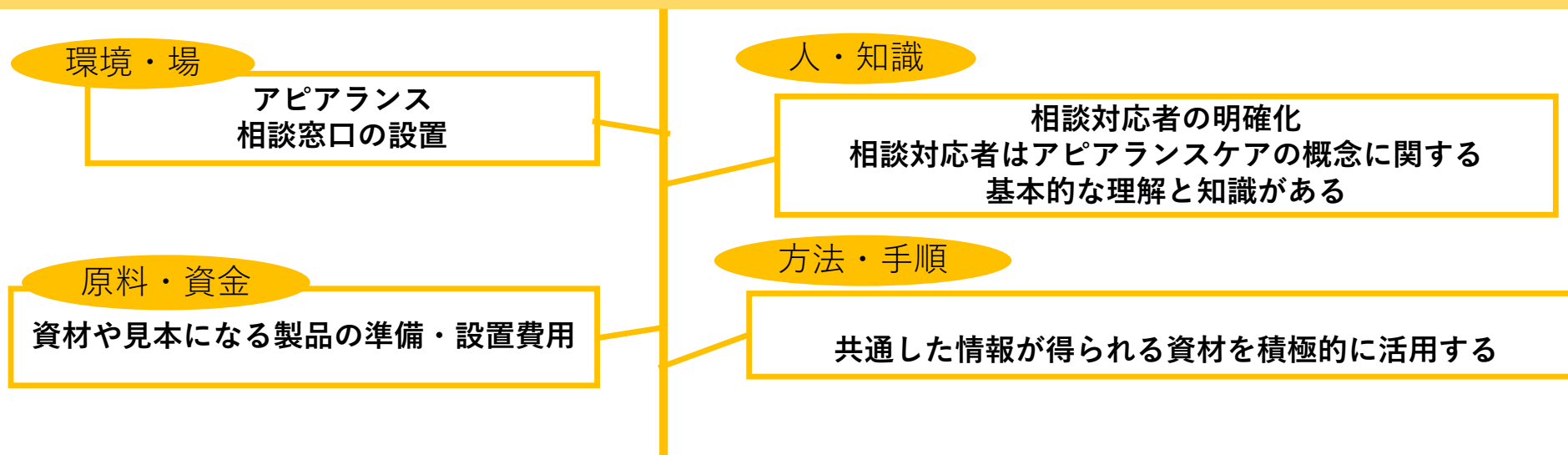
	アピアランスケアを導入・展開する際の重要ポイント	実務者	管理者
1	知識や意欲が高く、役割を維持できる者をアピアランスケア担当者として選任し、公式に任命する		◎
2	アピアランスケアについて院内の各部門が連携する体制を作る	◎	◎
3	アピアランスケア担当者と各部門のリンクナース（キーマン）が定期的に情報交換を行う	◎	

2. 院内外教育研修



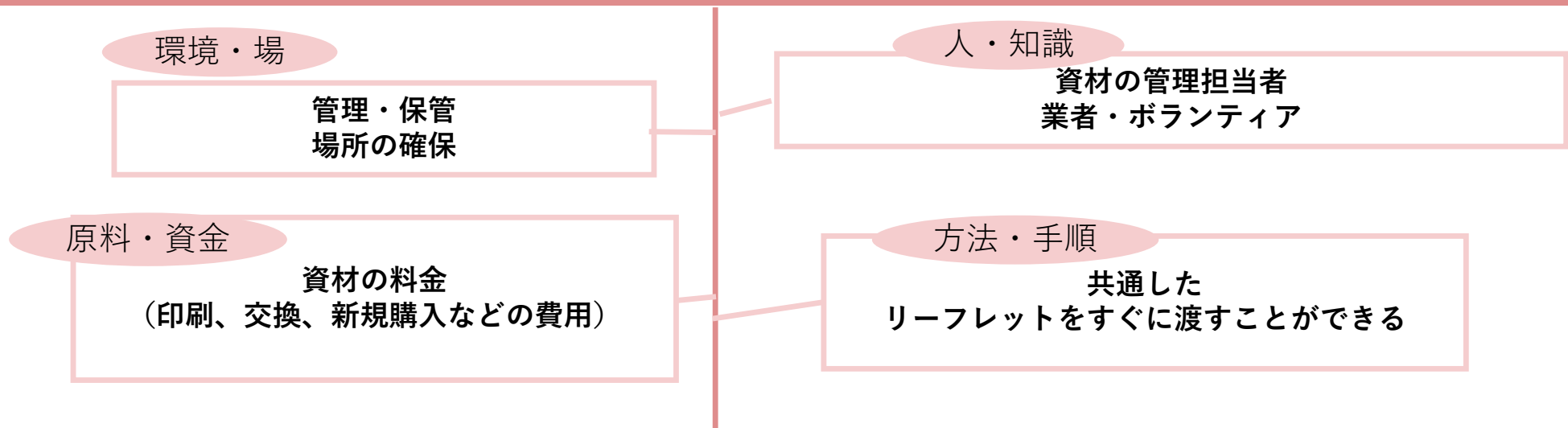
	アピアランスケアを導入・展開する際の重要ポイント	実務者	管理者
1	アピアランスケアの理念や実践方法を病院職員が共有するために働きかける	◎	◎
2	アピアランスケアの活動について研修会や学会への参加を病院として支援する	○	◎
3	医療圏のケアの均てん化に向けた研修会や相談対応などを実施する	◎	○

3. 患者さんへの情報提供やケア提供方法



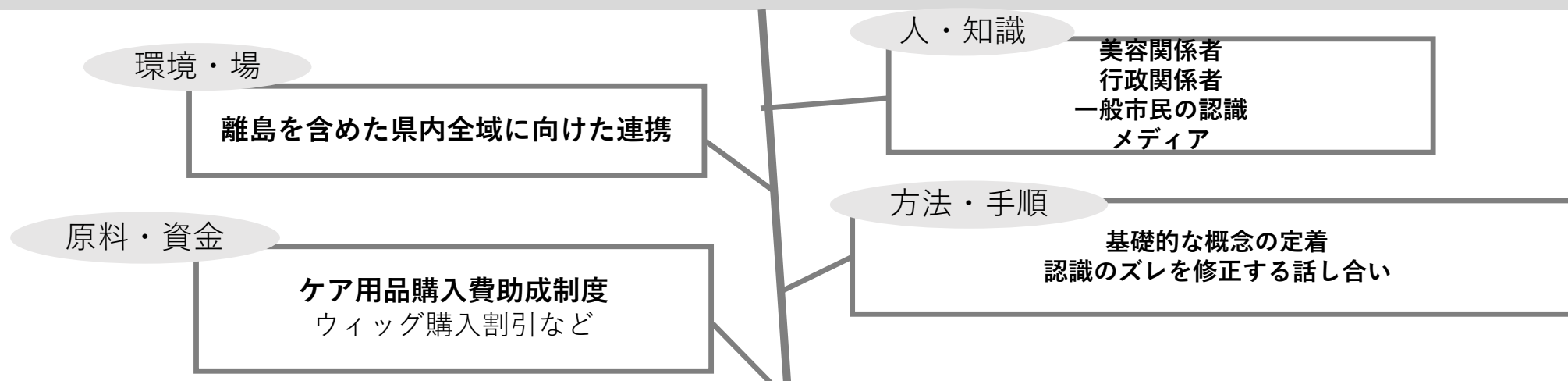
	導入・展開する際の重要ポイント	実務者	管理者
1	アピランスに関する患者や家族からの相談対応ルート・窓口を明確にする	◎	◎
2	外見の問題について相談できる場所や対応者などを患者に明示する	○	◎
3	アピランスケアの活動について患者から評価を得る機会を作る	◎	○

4. 資材の製作や管理



	導入・展開する際の重要ポイント	実務者	管理者
1	患者向けの説明資材を手に取りやすい場所・関連部署に設置する	◎	◎
2	資材の管理・保管している場所を明確にし、各管理者が責任をもって管理する	○	◎
3	積極的にボランティアや業者からの資材提供の協力と感謝の意を伝える	◎	○

5. 関連業種や都道府県との連携



	導入・展開する際の重要ポイント	実務者	管理者
1	公式な会議でアピランスケアについて発言する		◎
2	行政の担当者の理解を深めるために医療者側からの面談の場を設ける		◎
3	関連業種との契約が必要な場合、基準のひな型は病院関係者で確認し、協力体制（win-win）の関係性を維持する	○	◎

発表内容

I 実際に行った事業内容とその結果

- 1.医療従事者対象 ①院内 ②院外
- 2.患者(一般市民向け)①院内 ②院外

II 今後、他院でアピアランスケアを導入・展開する際のポイント

1. チーム作り
2. 院内教育研修
3. 患者さんへの情報提供やケア提供方法
4. 資材の製作や管理
5. 関連業種や都道府県との連携

III 次年度以降への活動計画

Ⅲ. 次年度以降の活動計画

実施計画	院 内	院 外
チーム作り	・アピアランスケアに関心をもつ医療者を発掘する ・アピアランスケアの対応フローチャートを周知する	・地域拠点病院医療者との連携・相談体制を継続する ・非拠点病院医療者との連携体制の構築をはかる
教育研修	・基礎的知識を普及する研修会の開催をする ・eラーニング受講者へのフォローアップ研修を開催する 【具体的な研修内容】症例検討会(脱毛以外のアピアランスケアについて;皮膚障害など)	・沖縄県全域の医療者研修会を開催する(年1回) ・離島医療者研修会を開催する(年2回;宮古島、石垣島) ⇒離島ならではの相談内容に沿った研修会の企画を行い開催する
患者向け相談会	・患者サロンでの講話を行い相談対応をする ・がん相談支援センター主催の相談会を定期的に行う	・地域拠点病院の患者サロンでの講話・相談会の開催をする ・離島の一般市民向け相談会を開催する(年2回;宮古島、石垣島)
関連業種や都道府県との連携	・資材等の管理とメンテナンスを整備する ・新病院開設(2025年1月)に向けて美容室の整備を推進する	・アピアランスケア購入費助成制度を導入する市町村と面談の場を設ける ・がん相談支援センターでの助成制度対応に関する困難点を把握する
その他	・アピアランスケア活動について活動報告会の場で発表する	・県内及び全国の学会・研究会等でアピアランスケアの実態と活動について発表する